

業 績 目 録

診療センター

救命救急センター

(論文)

1. 吉富有哉、朝日美穂、甘利香織、松本康、小山敬、岩村高志、三溝慎次. 鎮痛薬依存症患者における重症カフェイン中毒の一例. 好生. 2024;58:35-37

(学会発表)

1. 岩村高志. NBCテロ災害総論—特にCテロについて—. 好生館医学会. 2024.7.18. 佐賀市
2. 小山敬、末安正洋、龍知歩、朝日美穂、吉富有哉、甘利香織、松本康、岩村高志. スポーツイベントにおける化学テロ想定での訓練～佐賀県国民保護共同実動訓練、及び病院受け入れ訓練を通じて. 第46回佐賀救急医学会. 2024.9.21. 武雄市
3. 山口竜矢、岩村高志、松本康、杉野弘茂、上田勝也、岩本裕矢. 医療機関における救急救命士の活用. 第46回佐賀救急医学会. 2024.9.21. 武雄市
4. 朝日美穂、龍知歩、吉富有哉、松本康、小山敬、岩村高志、岩村昌子. 医療相談員の早期介入により救い得た一例. 第52回日本救急医学会総会・学術集会. 2024.10.15. 仙台市
5. 小山敬、龍知歩、朝日美穂、吉富有哉、甘利香織、松本康、岩村高志. 外傷の存在が推測困難であった、家屋内での多発骨折、脂肪塞栓症. 第31回日本航空医療学会総会. 2024.11.15. 那覇市

脳卒中センター

脳神経外科、脳神経内科 各科に再掲

リハビリテーションセンター

(学会発表)

1. 田代裕太、香月直子、市丸勝昭. 認知症高齢者の絵カード評価法(APCD)と作業選択意思決定支援ソフト(ADOC)利用により意味のある作業が活動性の向上に繋がった一事例—作業機能障害に焦点を当てて—. 第6回九州作業療法学会2024. 2024.6.22. 大分市
2. 押切洋子、小杉寿文、原田慶美. リンパ浮腫入院治療にて退院後も効果持続した一例. 九州理学療法士学術大会2024in佐賀. 2024.11.9-10. 佐賀市
3. 田代裕太、香月直子、押切洋子、市丸勝昭、山之内直也、柏田知美. 仮想現実技術を用いたリハビリテーション治療により科学療法後の末梢神経

傷害や身体機能が改善した一例. 第8回日本リハビリテーション医学会秋会. 2024.11.3. 岡山市

4. 辻希代子、納富里美、市丸勝昭、有馬浩史、三溝慎次. 当院の早期離床・リハビリテーション加算病棟における理学療法士の活動報告—非侵襲的陽圧換気患者に着目して—. 九州理学療法士学術大会2024in佐賀. 2024.11.9-10. 佐賀市
5. 山之内直也. 災害におけるリハビリテーション. 好生館医学会. 2024.11.21. 佐賀市
6. 香月直子、市丸勝昭、山之内直也、高島洋. 当院大腿骨近位部骨折地域連携パス対象患者における認知症患者の割合と転帰、転倒予防に向けての作業療法の取り組み. 日本転倒予防学会第11回学術集会. 2024.11.24. 佐賀市
7. 市丸勝昭、北川誠也、寺田恭巳子、金原直美. 療法士を対象とした喀痰等の吸引の取り組み. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.9-10. 佐賀市
8. 佐々木健吉、市丸勝昭、片渕宏輔、前隆男. 骨粗鬆症に関する地域連携の推進を目的とした合併パス作成についての報告. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.9-10. 佐賀市
9. 重松達大、長友篤志、真子歩都、赤坂桜大、青木力、市丸勝昭. 当院における職員向け腰痛予防の取り組み. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.9-10. 佐賀市

(研究会・講演会)

1. 佐々木健吉、納富里美. Letsロコモ予防. ゆめ佐賀大学. 2024.5.16. 佐賀市
2. 佐々木健吉、納富里美. Letsロコモ予防. ゆめ佐賀大学. 2024.6.6. 佐賀市
3. 納富里美. 運動で出来る高血圧予防. 令和6年度県民公開講座. 2024.8.3. 佐賀市
4. 片渕宏輔. 佐賀豪雨災害～能登半島地震における現地活動支援報告. 第5回災害リハビリテーション研修会. 2024.9.3. オンライン
5. 辻希代子. 人工呼吸器について. 第6回若手セラピストによる呼吸リハビリテーション研修会. 2024.9.17. 佐賀市
6. 片渕宏輔. 第12回佐賀がんリハビリテーション研修会；ファシリテーター. 2024.10.13. 佐賀市
7. 佐々木健吉、納富里美. Letsロコモ予防. ゆめ佐賀大学. 2024.12.11. 佐賀市
8. 市丸勝昭. 教育言論・人間関係論. 臨床実習指導者研修会. 2025.1.12. 佐賀市

中央診療部門

集中治療部 (ICU)

(学会発表)

1. 宮本裕太、三溝慎次. 当院ICUにおける人工呼吸療法に係る特定行為と人工呼吸離脱のアウトカムとの関連性. 第51回日本集中治療医学会学術集会. 2025.3.15. 札幌

検査部

(論文)

1. Anan T, Takahashi Y, Kimura Y, Tabayashi T, Kubota Y. Successful treatment of disseminated nocardiosis by rapid identification of the organism via genetic analysis in a leukemia patient undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Cureus*. 2024;16(4):e58489.
2. Kubota Y, Sano H, Takeda Y, Yamaguchi K, Nakamura H, Kai K, Kidoguchi K, Kusaba K, Yokoo M, Ando T, Sueoka E, Kimura S. Pure red cell aplasia in a patient with thymic hyperplasia, hypogammaglobulinemia and adult T-cell leukemia/lymphoma. *Intern Med*. in press (2024 Sep 18, Online ahead of print)
3. Yamada M, Yamada N, Kubota Y, Takahashi E, Nakao M, Miyazaki T, Sato S, Nakamura H, Kimura S, Sueoka E. A patient with partial E phenotype expressing alloanti-E antibody after transfusion with platelet concentrates. *Lab Med Int*. 2024;3(3):66-69.
4. Kubota Y, Kimura S. Current understanding of the role of autophagy in the treatment of myeloid leukemia. *Int J Mol Sci*. 2024;25(22):12219.
5. Nagaie T, Kubota Y, Hanamura I, Karnan S, Tomimasu R, Akashi M, Tsuruda S, Takami A, Kimura S, Miyahara M. Diffuse large B-cell lymphoma with t(1;22) (q21;q11.2) and t(6;18) (p25;q21): a case report. *Reports*. 2025;8(1):5.
6. Sugihara A, Kubota Y, Nagaie T, Fujita M, Ishii K, Okamoto S, Ureshino H, Katsuya H, Takeuchi M, Kai K, Ando T, Ohshima K, Kimura S. Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disease during remission after induction therapy with dasatinib in Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: a case report.

Ann Hematol. 2025;104(1):821-828.

7. Matsunaga T, Naganuma K, Tanabe N, Mori Y, Nagata M, Momose S, Kubota Y. Immune thrombocytopenia in an adult with X-linked agammaglobulinemia: a case report. *eJHaem*. In press.

(学会・研究会発表・講演)

1. 久保田寧、星子亨幹、弘津辰徳、木村晋也. 白血病細胞をオートファジー細胞死に導く葉酸修飾シクロデキストリンの開発. 第28回日本がん分子標的治療学会学術集会. 2024.6.19-21. 東京
2. 川上徹、川上史裕、松澤周治、山根拓、水野裕雅、朝倉亜美、氷鉦大悟、宮入翔太郎、酒井香生子、仁科さやか、酒井均、久保田寧、樋口由美子、牧島秀樹、中澤英之、石田文宏. 後天性赤芽球癆におけるリンパ性、骨髄性クローン性造血関連遺伝子変異. 第86回日本血液学会学術集会. 2024.10.11-13. 京都
3. 松永洸昂、永沼謙、久保田寧、平田公美、坂田憲幸、高橋康之、木崎昌弘、田辺記子、母里淑子、永田真莉乃、百瀬修二、東守洋、多林孝之. X連鎖無ガンマグロブリン血症の成人男性に発症した免疫性血小板減少症. 第86回日本血液学会学術集会. 2024.10.11-13. 京都
4. 久保田寧. X連鎖無ガンマグロブリン血症に免疫性血小板減少症を合併した成人例. 第71回日本臨床検査医学会学術集会. 2024.11.28-12.1. 大阪
5. 田口舜. 一級臨床検査士資格認定試験(微生物学)を受験して. 第15回マイクロスキャンセミナー. 2024.5.25. 福岡
6. 中村朱. 子宮、肺に浸潤がみられた悪性リンパ腫の1例. 細胞診症例検討会. 2024.7.9. 佐賀
7. 矢野智彦. 二級検査士(微生物)を受験して. 佐賀県臨床検査技師会 微生物部門研修会. 2024.8.1. オンライン開催
8. 泉朱里. 二級検査士(微生物)を受験して. 佐賀県臨床検査技師会 微生物部門研修会. 2024.8.1. オンライン開催
9. 松隈有悟. LVEF目合わせ@saga. 佐賀心エコー研修会. 2024.9.4. 佐賀
10. 北島茜. 栄養にかかわる検査. 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設実地研修会. 2024.9.10. 佐賀
11. 吉田剛士. こんな時どうしますか?～当館で経験した部分凝集の一例～. 佐賀県技師会輸血部門研修会. 2024.10.6. 佐賀

12. 萩尾修平. 佐賀県医療センター好生館の検体検査におけるパニック値報告体制の再構築と検証. 2024年度日臨技九州支部医学検査学会 (第58回). 2024.11.9. 鹿児島
13. 田中ひかる. 尿化学検査用精度管理試料「L-スイトロールU」の基礎的性能評価及び導入効果. 2024年度日臨技九州支部医学検査学会 (第58回). 2024.11.9. 鹿児島
14. 吉田剛士、登尾一平、萩尾修平、西田千恵、北島茜、山口健太、松下義照. 低頻度抗原Cwに対する抗体を検出した一症例. 2024年度日臨技九州支部医学検査学会(第58回). 2024.11.9. 鹿児島
15. 築地秀典. 当院におけるAMLの骨髄検査について. 南福岡AML診療連携セミナー. 2024.11.12. 福岡
16. 香月万葉. 災害発生時の臨床検査について. 好生館医学会. 2024.11.21. 佐賀
17. 梅木美由紀. 下肢静脈エコー (DVT) ～見逃さないために知っておきたい基礎知識～. 佐賀県技師会生理部門研修会. 2024.11.24. 佐賀
18. 吉田剛士、萩尾修平、松下義照、飯野忠史、久保田寧. 当館の血液製剤廃棄状況からみた取り組みと課題. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第71回総会・第92回例会. 2024.11.30. 福岡
19. 田口舜、佐野由佳理、武富光希、山口文美、三好恵美子、福岡麻美. 血液培養検査の精度管理～血液培養検査の適正な実施と迅速な陽性結果報告. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
20. 佐野由佳理、田口舜、武富光希、山口文美、三好恵美子、福岡麻美. 当館における薬剤耐性菌検出の検査法及び報告体制と各種耐性菌の発生率の推移. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
21. 山口健太、佐野由佳理、田口舜、松下義照、久保田寧. ISO15189認定取得を契機に見直した輸血部門の時間外教育体制の構築とその効果. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
22. 松下義照、久保田寧. 外来採血待ち時間短縮への取り組み. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀
23. 香月万葉、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、山口健太、松下義照、久保田寧、福岡麻美. Cronkhite-Canada症候群患者の便培養から *Arcobacter butzieri* を検出した1例. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2025.1.24. 名古屋
24. 山口健太、佐野由佳理、泉朱里、田口舜、香月万葉、福岡麻美. *Cutibacterium avidum* による手術部位感染症の1例. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2025.1.25. 名古屋
25. 田口舜. 資格試験復命報告～一級臨床検査士認定試験(微生物学)～. 佐賀県臨床検査技師会情報システム部門研修会. 2025.1.29. オンライン開催
26. 山道圭一郎. LVEF目合わせ@saga. 佐賀心エコー研修会. 2025.1.30. 佐賀
27. 宮崎勢子. 骨髄検査の流れを知ろう～骨髄採取から染色まで～. 令和6年度日臨技九州支部卒後教育研修会「第35回血液検査研修会」. 2025.2.2. 佐賀
28. 築地秀典. 骨髄検査の流れを知ろう～報告書作成の仕方～. 令和6年度日臨技九州支部卒後教育研修会「第35回血液検査研修会」. 2025.2.2. 佐賀
29. 田口舜. 微生物部門/同定/試料26の解析報告. 2024年度九州精度管理研究会精度管理報告会. 2025.2.9. 佐賀
30. 新開幸夫. 2024年度九州精度管理研究会精度管理報告会 「UIBC」について. 2024年度九州精度管理研究会精度管理報告会. 2025.2.9. 佐賀
31. 新開幸夫. 2024年度佐賀県医師会精度管理報告会 解析報告. 2024年度佐賀県医師会精度管理報告会. 2025.2.15. 佐賀
32. 田中祐也. 診断に苦慮した子宮頸部腺癌の1例. 細胞診症例検討会. 2025.2.18. 佐賀
33. 原成美. 分腎尿細胞診で診断し得た小細胞癌の1例. 第41回佐賀県臨床細胞学会地方会. 2025.3.15. 佐賀
34. 山口健太、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、松下義照、久保田寧、安波道郎、福岡麻美. 納豆菌と鑑別不能であった枯草菌菌血症分離株の全ゲノム解析. 好生館医学会総会. 2025.3.15. 佐賀

病理部

(論文)

1. 増田正憲、森大輔. 免疫染色での原発巣、組織型検索のための新たな抗体の模索. 好生. 2024; 58:16-19
2. 森大輔、増田正憲、大賀慎太郎、島内明子、三根大貴、飯野忠史. 悪性リンパ腫と骨髄異形成症候群の治療中にヘルペス肝炎の劇症化で死亡した1剖検例. 好生. 2024; 58:32-34

3. 田中祐也、坂井真一、中村朱、増田正憲、森大輔. 腹膜腫瘤にてburned-out tumorが疑われたセミノーマの1例. 好生. 2024;58:38-40

(発表)

- 陣内一樹、甲斐敬太、森大輔. 性腺腫瘍(semi-noma with granulomatous component). 第400回九州沖縄病理スライドコンファレンス. 2024.7.6. 熊本
- 陣内一樹、甲斐敬太、田中祐也、中村朱、増田正憲、森大輔. 腔壁浸潤を伴った尿道原発明細胞癌の1例. 第65回日本臨床細胞学会総会春期大会. 2024.6.8. 大阪
- 中村朱. 子宮、肺に浸潤が見られた悪性リンパ腫の1例. 好生館症例検討会. 2024.7.9. 好生館
- 田中祐也. 診断に苦慮した子宮頸部腺癌の1例. 好生館症例検討会. 2025.2.18. 好生館
- 原成美. 分腎尿献体で診断し得た尿管小細胞癌の1例. 第40回佐賀県臨床細胞学会地方会. 2025.3.15. 佐賀市
- ぼす被写体厚の影響. 2024年度佐賀県放射線技師学術大会. 2024.6.16. 佐賀
- 坂井智和、三井宏太、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. 造影CTにおける血管外漏出の頻度調査. 2024年度佐賀県放射線技師学術大会. 2024.6.16. 佐賀
- 内山貴博、三井宏太、坂井智和、久野敬矢、織田信一郎. 脳卒中MRI検査におけるartificial intelligenceの時間短縮効果の検証. 2024年度佐賀県放射線技師学術大会. 2024.6.16. 佐賀
- 久野敬矢. 当院におけるFFRangioの立ち位置-導入から現在までの歩み-. 第14回 豊橋ライブ. 2024.6.29. オンライン開催
- 津田規吏、三井宏太. ヨード造影剤量の低減を目的とした下肢CTアンギオグラフィにおける可変ヘリカルピッチの有用性. 第74回日本病院学会. 2024.7.4. 三重
- 三井宏太、津田規吏、織田信一郎. 被写体厚の変化がX線エネルギーとCT値の相関性に与える影響. 第74回日本病院学会. 2024.7.4. 三重
- 久野敬矢. FCA-FFRangioを識る. 福岡・佐賀循環器症例検討会. 2024.7.5. 福岡
- 三井宏太. 体格指標に基づくヨード量規定の『これまで』と『これから』. 第13回根本塾. 2024.7.12. 大阪
- 久野敬矢. FFRangioの歩みと今後の展望. CVIT2024 第32回 日本心血管インターベンション治療学会学術集会. 2024.7.26. 札幌
- 上田一輝. 当館のIGRTの運用について. 2024年度 日本放射線技術学会九州支部 放射線治療セミナー②. 2024.7.27. 佐賀
- 久野敬矢. FFRangioを使いこなす-解析者に必要な知識とは-. CVIT2024 第37回 日本心血管インターベンション治療学会 九州地方会. 2024.8.23. 佐賀
- 三井宏太. 症例で考えるCCTの読み解き方. CVIT2024 第37回 日本心血管インターベンション治療学会 九州地方会. 2024.8.23. 佐賀
- 津田規吏. CT画像の解像特性のオフセンタ距離による変化. 第62回全国自治体病院学会. 2024.11.1. 新潟
- 坂井智和、三井宏太、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. 造影CTにおける血管外漏出の頻度調査. 第62回全国自治体病院学会. 2024.11.1. 新潟
- 久野敬矢. 解析の標準化を目指して-九州をひとつに-. 第1回 九州user meeting. 2024.11.18. オンライン開催

放射線部 (技師部門)

(論文・執筆)

- 三井 宏太. TBT法の実践的活用. 医療科学社. 2024.5
- 津田 規吏. 頭部CT画像の眼窩外耳孔ラインに対する設定チルト角による頭蓋底部のアーチファクト評価. 日本放射線技術学会雑誌. 2024.8;80(8):850-858
- 三井 宏太. 造影冊子 (CONTRAST). 九州CT研究会. 2024.10
- 三井 宏太. 大腸CT検査の導入. CTCメルマガ. 85. 2025.1

(学会・研究会発表)

- 濱田洋. 感染対策. 佐賀県放射線技師会フレッシュセミナー. 2024.4.27. 佐賀
- 津田規吏、三井宏太. CT画像におけるthin-slab maximum intensity projectionの基本的な画像特性. 第80回日本放射線技術学会総会学術大会. 2024.4.12. 横浜
- 三井宏太. 4D-CTを用いたエンドリーク評価の新たな洞察. 第5回Rise UP CT Conference. 2024.5.18. 東京
- 三井宏太、坂井智和、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. X線エネルギーとCT値の相関性に及

19. 三井宏太. CT検査の可能性を探る：脳血管描出の為に今できること. 第40回日本脳神経血管内治療学会. 2024.11.21. 熊本
20. 久野敬矢. これからはFCAでしょ -求められる標準化-. ARIA2024. 2024.11.22. 福岡
21. 三井宏太. 基礎から学ぶ！頭部CT-angiographyのいろは. 第86回筑後 有明CT・MRIセミナー. 2024.11.29. オンライン開催
22. 富永絢盟、三井宏太、山口裕士. 急性期脳梗塞画像診断を目的としたCT検査におけるdeep learning応用画像再構成と画像表示法の検討. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
23. 山口裕士、三井宏太、富永絢盟. 造影CT検査における血管外漏出の頻度とヒヤリハット総件数の相関について. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
24. 久野敬矢. 解析の標準化を目指して -九州と中四国を繋ぐFFRangioの輪-. 第1回 中四国user meeting. 2024.12.9. オンライン開催
25. 三井宏太. 右乳房静脈奇形. 画論2024. 2024.12.15. オンライン開催
26. 津田規吏、三井宏太. 末梢血管描出を目的としたdeep learning reconstruction CT画像の解像特性の評価. 第19回九州放射線医療技術学会. 2024.12.21. 宮崎
27. 三井宏太、津田規吏、織田信一郎. 被写体厚の変化に伴うX線実効エネルギーの挙動とCT値との相関性の評価. 第19回九州放射線医療技術学会. 2024.12.21. 宮崎
28. 三井宏太. 血管描出のための3D-CTAの撮影方法. PRANETテクニカルセミナー. 2025.1.9. オンライン開催
29. 中野竣、三井宏太. 脳梗塞～超急性期～. 第7回佐賀MRI研究会. 2025.2.20. オンライン開催
30. 三井宏太. その手があった！純正アプリケーションでできる血流評価. 第16回佐賀CT技術研究会. 2025.3.5. 佐賀

(院内勉強会)

1. 濱田洋. 放射線部における医療安全. 救急救命士就業時研修. 2024.4.5
2. 濱田洋. 医療放射線の安全管理. 新規採用職員研修. 2024.4.27
3. 三井宏太. 胸部画像の読み方. 看護師向け勉強会. 2024.5.26
4. 久野敬矢. FFRangioを識る. カテ室ワークショップ. 2024.5.31

5. 江口寛晃. 災害発生時における放射線部の対応. 好生館医学会. 2024.7.18
6. 三井宏太. 造影CT検査のQ&A. 看護師向け勉強会. 2024.8.5
7. 江口寛晃. 放射線の安全利用について. 医療安全研修会. 2024.11.7
8. 織田信一郎. 放射線部の紹介と放射線検査の概要. DA向け勉強会. 2025.1.16
9. 久野敬矢. 放射線防護・被ばくについて. ME向け勉強会. 2025.3.17
10. 三井宏太. 症例で考えるCCTの読み解き方. ME向け勉強会. 2025.3.17

(受賞)

1. 濱田洋. 日本診療放射線技師会功労賞. 永年にわたる技師会活動. 2024.6.16
2. 三井宏太. 2024年度佐賀県放射線技師学会大会 最優秀賞. 最優秀賞演題. 2024.6.16
3. 濱田洋. 佐賀市功労賞. 永年にわたる技師会役員活動. 2024.10.1
4. 三井宏太. 第19回九州放射線医療技術学会大会 優秀賞. 優秀賞演題. 2024.12.21
5. 濱田洋. 好生館永年勤続表彰. 永年勤続. 2025.3.12

栄養管理部

(学会・研究会発表等)

1. 牛島圭太、小根森智子、山内健、佐々木美鈴. 第1回患者さんのための見た目にも美味しい病院食コンテストでグランプリを受賞して～さがランチの取り組み～. 第28回佐賀NST研究会. 2024.6.15. 佐賀市
2. 武藤愛、小根森智子、山内健、田口匠平、亀井一輝. 胃瘻造設術後の患者家族へのミキサー食注入の食事指導の取り組み. 第28回佐賀NST研究会. 2024.6.15. 佐賀市
3. 武藤愛、小根森智子、山内健、田口匠平、亀井一輝. 胃瘻造設術後の患者家族へのミキサー食注入の食事指導の取り組み. 第62回全国自治体病院学会. 2024.10.31. 新潟市
4. 小根森智子、山本美紗子、川崎愛弓. 診療報酬改定と当館管理栄養士業務の変化. 日本健康・栄養システム学会九州地方会inSAGA. 2024.11.23. 鳥栖市
5. 牛島圭太. NST介入患者における血清亜鉛、

銅値の検討. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市

6. 小根森智子、山本美紗子. 当館の外国人入院患者の食事対応の現状. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市

(講演等)

1. 山本美紗子. 食生活の基礎は幼少期に形成される. 令和6年度特定保健指導研修. 2025.1.19. 佐賀市

ME センター

(学会・研修会発表等)

1. 塩川悠太. DVR術後、低心拍出量症候群にてV-A ECMO導入後、左室減圧術でBailOutできた症例. 第37回日本心血管インターベーション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.8.23-24. 佐賀
2. 三好夏喜. BOSTON社製のIVUS (AVVIGO+)におけるALA解析の有用性について. 第37回日本心血管インターベーション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.8.23-24. 佐賀
3. 岩本渚. 当院における動画マニュアル作成について. 第37回日本心血管インターベーション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.8.23-24. 佐賀
4. 岩本渚. Mediinboxシステムを活用したメディカルスタッフのアブレーションの教育について. カテーテルアブレーション関連秋季大会. 2024.10.10-12. 大阪
5. 平野徳章. 心房細動に対する肺静脈隔離術において、Activation vectorとfrequencyにより食道近接部位の通電を効率的に行えた3症例. カテーテルアブレーション関連秋季大会. 2024.10.10-12. 大阪
6. 山口晃平. 透析機器の故障発生における対応について. 第17回佐賀県臨床工学会. 2024.12.1. 佐賀
7. 古我賢悟. 当院におけるペースメーカ遠隔モニタリング管理業の現状. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
8. 三好夏喜. エキシマレーザーの導入経験について. 34回九州トランスラディアル研究会 福岡 Live Demonstration 2025. 2025.2.15. 福岡

診療科

総合内科

(学会発表)

1. 田中謙慎、原野由美. 起立性調節障害を契機に発見された抗内因子抗体陽性ビタミン B12欠乏症の一例. 日本プライマリ・ケア連合学会 第19回九州支部総会・学術大会. 2025.1.12. 福岡市

呼吸器内科

(論文)

1. Y Kurihara, H Tashiro, Y Konomi, H Sadamatsu, S Ihara, A Takamori, S Kimura, N Sueoka-Aragane, K Takahashi. Thymic stromal lymphopoietin contributes to ozone-induced exacerbations of eosinophilic airway inflammation via granulocyte colony-stimulating factor in mice. *Allergol Int.* 2024 Apr;73(2):313-322.

(学会発表)

1. 福田ゆい、岩永健太郎、光井遙佑、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 当科でHFNCを施行した高齢呼吸不全患者の予後. 第93回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部秋季学術講演会. 2024.10.11-12. 福岡市
2. 光井遙佑、岩永健太郎、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 特発性血気胸に対して経カテーテル的動脈塞栓術 (TAE) を施行した1例. 第93回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部秋季学術講演会. 2024.10.11-12. 福岡市
3. 梅口仁美、光井遙佑、貞松宏典、久保田未央、岩永健太郎. MET exon 14 skipping 変異陽性肺癌に対する二次治療の検討. 第65回日本肺癌学会学術集会. 2024.10.31-11.2. 横浜市
4. 岩永健太郎、光井遙佑、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 当科における肺扁平上皮癌に対するマルチ遺伝子検査の後方視的検討. 第65回日本肺癌学会九州支部学術集会 第48回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会. 2025.2.9-10. 福岡市

消化器内科

(論文)

1. Sho Suzuki, Naoyuki Tominaga, Tomonori Aoki, Eiji Sadashima, Tadashi Miike, Hiroshi Kawakami, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Atsuo Yamada, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Yoshinori Sato, Takaaki Kishino, Naoki Ishii, Tsunaki Sawada, Masaki Murata, Akinari Takao, Kazuhiro Mizukami, Ken Kinjo, Shunji Fujimori, Takahiro Uotani, Minoru Fujita, Hiroki Sato, Toshiaki Narasaka, Junnosuke Hayasaka, Tomohiro Funabiki, Yuzuru Kinjo, Akira Mizuki, Shu Kiyotoki, Tatsuya Mikami, Ryosuke Gushima, Hiroyuki Fujii, Yuta Fuyuno, Takuto Hikichi, Yosuke Toya, Kazuyuki Narimatsu, Noriaki Manabe, Koji Nagaike, Tetsu Kinjo, Yorinobu Sumida, Sadahiro Funakoshi, Kiyonori Kobayashi, Tamotsu Matsuhashi, Yuga Komaki, Mitsuru Kaise, Naoyoshi Nagata. Association of blood group O with a recurrent risk for acute lower gastrointestinal bleeding from a multicenter cohort study. *Sci Rep.* 2024 Jun 17;14(1):13983. doi: 10.1038/s41598-024-64476-9.
2. Kinjo K, Aoki T, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Watanabe K, Hisabe T, Yao K, Kaise M, Nagata N. Validation of British Society of Gastroenterology guidelines for acute lower gastrointestinal bleeding from 8,956 cases in Japan. *Gastrointest Endosc.* 2024 Nov 16:S0016-5107(24)03730-1. doi: 10.1016/j.gie.2024.11.020.
3. Daisuke Yamaguchi, Naoyuki Tominaga, Genki Mori, Takeshi Yasuda, Takahiro Yukimoto, Yosuke Minoda, Koichi Miyahara, Kensei Ohtsu, Yoichiro Ito, Kohei Yamanouchi, Kasumi Gondo, Tadahiro Nomura, Yuichiro Tanaka, Michito Tomonaga, Mitsuru Esaki, Takuya Shimamura, Yuki Takeuchi, Motohiro Esaki. Efficacy and

safety of endoscopic hemostasis with a self-assembling peptide solution in patients with colonic diverticular bleeding: A multicenter pilot study. *Gastrointest Endosc.* 2024 Nov 7:S0016-5107(24)03687-3.

4. Takuya Matsunaga, Naoyuki Tominaga and Shinichi Ogata. Usefulness of the right lateral decubitus push method in endoscopic submucosal dissection for upper gastric lesions. *Dig Endosc.* 2024 Nov 25. doi: 10.1111/den.14945.
5. Kazuyuki Narimatsu, Naoki Ishii, Atsuo Yamada, Tomonori Aoki, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Naoyuki Tominaga, Yoshinori Sato, Takaaki Kishino, Tsunaki Sawada, Masaki Murata, Akinari Takao, Kazuhiro Mizukami, Ken Kinjo, Shunji Fujimori, Takahiro Uotani, Minoru Fujita, Hiroki Sato, Sho Suzuki, Toshiaki Narasaka, Junnosuke Hayasaka, Tomohiro Funabiki, Yuzuru Kinjo, Akira Mizuki, Shu Kiyotoki, Tatsuya Mikami, Ryosuke Gushima, Hiroyuki Fujii, Yuta Fuyuno, Takuto Hikichi, Yosuke Toya, Noriaki Manabe, Koji Nagaike, Tetsu Kinjo, Yorinobu Sumida, Sadahiro Funakoshi, Kiyonori Kobayashi, Tamotsu Matsunashi, Yuga Komaki, Ryota Hokari, Mitsuru Kaise, Naoyoshi Nagata. Impact of long-term trends on outcomes in the management of colonic diverticular bleeding: mediation analyses in a large multicenter study. *J Gastroenterol.* 2024 Dec 27. doi: 10.1007/s00535-024-02178-9.

(学会発表)

1. 小出紘也、松永拓也、山口杏月、朝長道人、富永直之、緒方伸一. ポリスチレンスルホン酸ナトリウム服用中に発症した大腸潰瘍の一例. 第117回日本消化器内視鏡学会 一般演題. 2024.6.21. 小倉
2. Naoyuki Tominaga, Takuya Matsunaga, Shinichi Ogata. The Usefulness of Early Endoscopy within 3 Hours in Patients with Acute Lower Gastrointestinal Bleeding. 第32回日本消化器関連学会週間. 2024.11.2. 神戸
3. 阿部日向子、富永直之、山口杏月、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也. 超高齢者に発症した Cronkhite-Canada症候群の一例. 第124回日本消化器病学会 一般演題. 2024.11.15. 鹿児島

4. 岡本梨奈、山口杏月、阿部日向子、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也、富永直之、島田里美、垣内俊彦. 生後4ヶ月の血便で発覚したサイトメガロウイルス腸炎の一例. 第118回日本消化器内視鏡学会 一般演題. 2024.11.15. 鹿児島
5. 田中謙慎、山口杏月、阿部日向子、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也、富永直之. 上行結腸憩室炎の合併症としての腸間膜静脈内血栓症と静脈内膿瘍を経験した一例. 第124回日本消化器病学会 一般演題. 2024.11.15. 鹿児島
6. 野村忠洋、富永直之、阿部日向子、山口杏月、森田竜麻、松永拓也. 小腸イレウスに対する胃管ガストログラフィン注入法の有用性. 第124回日本消化器病学会 一般演題. 2024.11.15. 鹿児島
7. 山口杏月、阿部日向子、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也、富永直之、緒方伸一. 周囲の黒色調変化を一助に診断に至った低色素性悪性黒色腫の一例. 第118回日本消化器内視鏡学会 一般演題. 2024.11.15. 鹿児島
8. 山口太輔、行元崇浩、富永直之、宮原貢一、川久保洋晴. OTSCを用いた消化管癌内視鏡治療に対する合併症対策の現状 (SAGA-OTSC registry). 第118回日本消化器内視鏡学会 パネルディスカッション. 2024.11.16. 鹿児島
9. 富永直之、阿部日向子、山口杏月、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也. HER2陽性胃肝様腺癌の一例. 第97回日本胃癌学会総会 ポスター. 2025.3.14. 名古屋
10. 森田竜麻、富永直之、阿部日向子、山口杏月、野村忠洋、松永拓也. 胃消化管間質腫瘍術後の縫合不全をOver-The-Scope-Clipにて治療した1例. 第97回日本胃癌学会総会 ポスター. 2025.3.14. 名古屋

(講演)

1. 富永直之. 医療現場での挑戦～東京医科大学が与えてくれた未来～. 東京医科大学大学院学生講義. 2024.6.4. 新宿
2. 富永直之. HER2陽性例を拾い上げるための内視鏡生検のポイント. Gastric Cancer Leaders' Meeting. 2024.6.14. 博多
3. 富永直之. エビデンスに基づく逆流性食道炎と消化管出血の治療. 佐賀県内科医会学術講演会. 2024.9.17. 佐賀
4. 富永直之. 急性下部消化管出血の予後予測スコア. 第6回日本大腸憩室研究会学術集会. 2024.11.1. 神戸

5. 富永直之. 酸関連疾患の診断と治療戦略. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀
6. 富永直之. エビデンスに基づく逆流性食道炎と消化管出血の治療. 内科医のための消化器疾患セミナー. 2024.12.19. 佐賀
7. 富永直之. IL-23製剤を使用した当院における潰瘍性大腸炎の治療経験. 佐賀・久留米IBDカンファレンス. 2025.1.30. 佐賀
8. 富永直之. 消化器内科が考える抗凝固療法～出血高リスク患者における治療と管理～. 循環器地域連携セミナー. 2025.2.4. 佐賀
9. 富永直之. 胃癌化学療法と内視鏡. 佐賀県胃癌・大腸癌検診医会. 2025.3.8. 佐賀

血液内科

(論文)

1. Following the Administration of Immunosuppressant and Thrombopoietin Receptor Agonist (TPO-RA). Iino T, Yokoo M, Okamoto S, Kondo S. *Cureus*. 2024 May 26;16(5):e61135.
2. Elimination of residual adult T-cell leukaemia clones by Tax-targeted dendritic cell vaccine. Iino T, Hasegawa A, Matsutani T, Akashi K, Kannagi M, Suehiro Y. *EJHaem*. 2025 Feb 6;6(1):e1072.

〔共同研究〕

1. Sugio T, Uchida N, Miyawaki K, Ohno Y, Eto T, Mori Y, Yoshimoto G, Kikushige Y, Kunisaki Y, Mizuno S, Nagafuji K, Iwasaki H, Kamimura T, Ogawa R, Miyamoto T, Taniguchi S, Akashi K, Kato K. Prognostic impact of HLA supertype mismatch in single-unit cord blood transplantation. *Bone Marrow Transplant*. 2024 Apr;59(4):466-472.
2. Shima T, Minami M, Tochigi T, Kochi Y, Jinnouchi F, Yamauchi T, Mori Y, Yoshimoto G, Mizuno S, Miyamoto T, Kato K, Akashi K. Procalcitonin elevation in febrile recipients during pre-transplant conditioning with anti-thymocyte globulin. *Blood Cell Ther*. 2024 Apr 26;7(2):49-55.
3. Arai H, Hosono N, Chi S, Fukushima K, Ikeda D, Iyama S, Gotoh A, Ikezoe T, Yoshida C, Yoshimoto G, Kanda J, Takahashi N, Sakaida E, Usuki K, Yamauchi T, Minami Y. A practice-oriented genome-profiling study for acute myeloid

leukemia using the novel HANDLE system: HM-screen-JAPAN02. *Int J Hematol*. 2025 Mar;121(3):378-387.

4. Sakoda T, Kikushige Y, Irifune H, Kawano G, Harada T, Semba Y, Hayashi M, Shima T, Mori Y, Eto T, Kamimura T, Iwasaki H, Ogawa R, Yoshimoto G, Kato K, Maeda T, Miyamoto T, Akashi K. TIM-3 marks measurable residual leukemic stem cells responsible for relapse after allogeneic stem cell transplantation. *Cancer Sci*. 2025 Mar;116(3):698-709.
5. Iyama S, Chi S, Idogawa M, Ikezoe T, Fukushima K, Utsu Y, Kanda J, Yoshimoto G, Kobayashi T, Hosono N, Yamauchi T, Kondo T, Nakamura Y, Kojima K, Yoshida C, Gotoh A, Yamamoto K, Kuroda J, Ishitsuka K, Sakaida E, Horiguchi H, Takada K, Ohnishi H, Kobune M, Minami Y. Prognostic impact of TET2 mutations in patients with acute myeloid leukemia: HM-SCREEN-Japan 01 and 02 study. *Ann Hematol*. 2025 Jan;104(1):275-284.
6. Goto T, Numata H, Katsuoka Y, Uoshima N, Hara S, Ando J, Ota S, Yoshimoto G, Matsuoka A, Hashiba H, Morita T, Tsutsui A, Imanaka R. R. Real-World Experience with Venetoclax Treatment for Newly-Diagnosed Acute Myeloid Leukemia in Japan (VENUS Study): An Interim Analysis Focusing on Neutropenia Management. *Oncol Ther*. 2025 Mar 7. doi: 10.1007/s40487-025-00329-3. Epub ahead of print. PMID: 40055300.
7. Sugio T, Miyawaki K, Uchida N, Niemann M, Spierings E, Mori K, Ohno Y, Eto T, Mori Y, Yoshimoto G, Kikushige Y, Kunisaki Y, Mizuno S, Nagafuji K, Iwasaki H, Kamimura T, Ogawa R, Miyamoto T, Taniguchi S, Akashi K, Kato K. Indirect presentation of mismatched human leukocyte antigen-B associates with outcomes of cord blood transplantation. *Br J Haematol*. 2025 Mar 10. doi: 10.1111/bjh.20035. Epub ahead of print. PMID: 40065633.

(学会発表)

〔口演〕

1. Goichi Yoshimoto, Masato Ishimaru, Masahiro Umeda, Yu Kochi, Tadafumi Iino. The management of fungal infection for AML treated with venetoclax and azacitidine therapy. The

85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 11, 2024. Tokyo.

2. Masato Ishimaru, Tadafumi Iino, Shintaro Oga, Hirohide Nishihara, Takuji Yamauchi, Tomoko Henzan, Yu Kochi, Masahiro Umeda, Koji Kato, Goichi Yoshimoto. A case of epcoritamab successfully treated recurrent DLBCL after axi-cabtagene ciloleucel therapy. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 12, 2024. Tokyo
3. Shintaro Oga, Masato Ishimaru, Masahiro Umeda, Yu Kochi, Tadafumi Iino, Goichi Yoshimoto. Venetoclax and azacitidine therapy in allogeneic stem cell transplantation for AML. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 13, 2024. Tokyo
4. 石丸聖人、梅田正洋、幸地祐、飯野忠史、吉本五一. Bing-Neel症候群の治療中にWernicke脳症を発症した一例. 第348回日本内科学会九州地方会. 2025.1.25. 福岡 ※内科専攻医賞を受賞
5. 吉本五一、石丸聖人、梅田正洋、幸地祐、飯野忠史. AMLに対する同種造血幹細胞移植後のVenetoclax+Azacitidine維持療法. 第47回日本造血・免疫細胞療法学会. 2025.2.28. 大阪
6. 石丸聖人、飯野忠史、梅田正洋、幸地祐、吉本五一. Epcoritamab 投与中に発症したHHV-6髄膜脳炎の一例. 第15回日本血液学会九州地方会. 2025.3.8. 福岡

〔共同演者〕

1. Naoko Hosono, Tomoki Naito, SungGi Chi, Hironori Arai, Koichi Onodera, Kentaro Fukushima, Daisuke Ikeda, Satoshi Iyama, Akihiko Gotoh, Takayuki Ikezoe, Naoto Takahashi, Kensuke Kojima, Junya Kuroda, Koji Izutsu, Suguru Fukuhara, Hirotaka Matsui, Goichi Yoshimoto, Junya Kanda, Takahiro Yamauchi, Kensuke Usuki, Yosuke Minami. Analysis of AML with myelodysplasia-related gene (MRG) abnormalities: HM-SCREEN-Japan 01/02 analysis. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 11, 2024. Tokyo.
2. Hiroki Numata, Ryota Imanaka, Yuna Katsuoka, Nobuhiko Uoshima, Satoru Hara, Jun Ando, Shuichi Ota, Goichi Yoshimoto, Akihito Matsuoka, Tetsuo Morita, Mizuha Kanaya, Sayaka Tahara, Tatsunori Goto. Time course of neutrophil and treatment outcomes of venetoclax in the

real-world setting in Japan. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 11, 2024. Tokyo.

3. Iroha Morita, Makoto Iwasaki, Junya Kanda, SungGi Chi, Tomoki Naito, Daisuke Ikeda, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Kentaro Fukushima, Goichi Yoshimoto, Makoto Yoshimitsu, Shigeru Kusumoto, Naoto Takahashi, Emiko Sakaida, Kensuke Usuki, Keisuke Tanaka, Akifumi Takaori Kondo, Yosuke Minami. NGS-based risk stratification for decision making in HSCT: Insights from the HM01 and HM02 cohorts. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 11, 2024. Tokyo
4. Yoshihiro Tokunaga, Yukinori Nakamura, Kaoru Yamamoto, Shigeru Kusumoto, Goichi Yoshimoto, Yusuke Kagaya, Daisuke Ikeda, Hironori Arai, Yoshikazu Utsu, SungGi Chi, Yosuke Minami. Genetic mutation profile in therapy-related acute myeloid leukemia: HM-SCREEN-JAPAN-01 and -02. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 12, 2024. Tokyo
5. Shuki Oya, Hidetoshi Ozawa, Takayuki Nakamura, Masahiro Umeda, Toshinobu Fukuyama, Yoshimi Maehiro, Yusuke Takaki, Yoshitaka Yamasaki, Fumihiko Mouri, Masato Ishimaru, Tadafumi Iino, Goichi Yoshimoto, Koji Nagafuji. Long-term NPM1 MRD monitoring in NPM1-AML treated with low-intensity chemotherapy. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 12, 2024. Tokyo

〔ポスター〕

1. Tadafumi Iino, Shintaro Oga, Masato Ishimaru, Masako Yokoo, Yu Kochi, Masahiro Umeda, Goichi Yoshimoto. Three cases of PCNSL treated with tirabrutinib followed by autologous transplantation. The 85th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. October 13, 2024. Tokyo
2. 吉本五一、石丸聖人、梅田正洋、幸地祐、飯野忠史. 当院における造血器疾患に対するIsavuconazoleの使用経験. 第47回日本造血・免疫細胞療法学会. 2025.2.28. 大阪
3. 石丸聖人、梅田正洋、幸地祐、飯野忠史、吉本五一. 生体肺移植後の急性骨髄性白血病に対する

移植後シクロホスファミドを用いたHLA半合致造血幹細胞移植. 第47回日本造血・免疫細胞療法学会. 2025.2.28. 大阪

〔共同演者〕

1. Minoru Kanaya, Yuji Mukai, Mirei Kobayashi, Sayaka Kajikawa, Toma Suzuki, Emi Yokoyama, Koh Izumiyama, Makoto Saito, Masanobu Morio-ka, Akio Mori, Toshihiro Matsukawa, Masahiro Onozawa, Goichi Yoshimoto, Mitsuru Moriyama, Sunggi Chi, Takanori Teshima, Yosuke Minami, Masato Honmma, Takeshi Kondo. Combination of Low White Blood Cell Count and Impaired Renal Function Is a Risk Factor for Higher Concentrations of Venetoclax and Prolonged Neutropenia in AML Patients with Venetoclax Combined Regimen: Real World Experience in the Japanese Cohort. The 66th Annual Meeting of the American Society of Hematology. December 6, 2024. San Diego.
2. Naoko Hosono, Tomoki Naito, Sunggi Chi, Hironori Arai, Koichi Onodera, Kentaro Fukushima, Daisuke Ikeda, Satoshi Iyama, Akihiko Gotoh, Takayuki Ikezoe, Naoto Takahashi, Kensuke Kojima, Junya Kanda, Koji Izutsu, Suguru Fukuhara, Hirotaka Matsui, Goichi Yoshimoto, Junya Kuroda, Takahiro Yamauchi, Kensuke Usuki, Yosuke Minami. AML-Mrg Mutation Spectrum and Its Prognosis: A Japanese Multicenter Study HM01-02 Analysis with Full Analysis Sets. The 66th Annual Meeting of the American Society of Hematology. December 6, 2024. San Diego.
- protocol. BMJ Open. 2024;14:e088862. doi:10.1136/bmjopen-2024-088862
2. Araki T, Hayashi K, Shimokawa M, Otsuka T, Sonoda Y, Honda T, Shibuki T, Nakazawa J, Arima S, Miwa K, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Shimokawa H, Takeshita S, Nishikawa K, Komori A, Otsu S, Hosokawa A, Sakai T, Oda H, Kawahira M, Arita S, Taguchi H, Tsuneyoshi, K, Fujita T, Sakae T, Kawaguchi Y, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Comparison of inflammatory markers before and after nanoliposomal irinotecan and fluorouracil with folic acid in patients with pancreatic cancer: results from the NAPOLEON-2 study (NN-2302). Ther Adv Med Oncol. 2025;17:1-14. doi:10.1177/17588359251320768
3. Araki T, Sonoda Y, Shimokawa M, Otsuka T, Hayashi K, Honda T, Nakao K, Shibuki T, Nakazawa J, Arima S, Miwa K, Okabe Y, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Shimokawa H, Takeshita S, Komori A, Nishikawa K, Otsu S, Hosokawa A, Oda H, Sakaari T, Arita S, Kawahira M, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Kawaguchi Y, Fujita T, Sakae T, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Relationship between neutropenia caused by nanoliposomal irinotecan/fluorouracil/leucovorin and treatment outcomes in the NAPOLEON-2 study (NN-2301). Sci Rep. 2025 Jan. 27;15(1):3427. doi:10.1038/s41598-025-88005-4. PMID: 39870769; PMCID: PMC11772893.
4. Araki T, Kawahira M, Shimokawa M, Otsuka T, Hayashi K, Sonoda Y, Honda T, Nakao K, Shibuki T, Nakazawa J, Arima S, Fukahori M, Miwa K, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Makiyama A, Shimokawa H, Takeshita S, Komori A, Nishikawa K, Sakai T, Oda H, Arita S, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Kawaguchi Y, Fujita T, Sakae T, Nio K, Ureshino N, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Real-world analysis of the correlation between overall survival and progression-free survival in advanced pancreatic cancer: results of NAPOLEON-1 and 2 studies. Oncology. 2025;103(7):569-579. doi:10.1159/000542137. PMID: 39427640.
5. Shibuki T, Otsuka T, Shimokawa M, Nakazawa J, Arima S, Fukahori M, Miwa K, Okabe Y, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Makiyama A, Shimokawa H, Takeshita S, Nishikawa K, Komori A, Otsu S, Hosokawa A, Sakai T, Oda H, Kawahira M,

肝臓・胆のう・膵臓内科

(論文)

1. Iwaki M, Kobayashi T, Nogami A, Ogawa Y, Imajo K, Sakai E, Nakada Y, Koyama S, Kurihashi T, Oza N, Kohira T, Okada M, Yamaguchi Y, Iwane S, Kageyama F, Sasada Y, Matsushita M, Tadauchi A, Murohisa G, Nagasawa M, Sato S, Maeda K, Furuta K, Shigefuku R, Seko Y, Tobita H, Kawata K, Kawanaka M, Sugihara T, Tamaki N, Iwasa M, Kawaguchi T, Itoh Y, Kawaguchi A, Takahashi H, Nakajima A, Yoneda M. Pemafibrate for treating MASLD complicated by hypertriglyceridaemia: a multicentre, open-label, randomised controlled trial study

Arita S, Honda T, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Kawaguchi Y, Fujita T, Sakae T, Nio K, Ide Y, Ureshino N, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid, FOLFIRINOX, and S-1 as second-line treatment for unresectable pancreatic cancer after gemcitabine/nab-paclitaxel. *Sci Rep*. 2024 Jul 23;14(1):16906. doi:10.1038/s41598-024-65689-8. PMID: 39043707; PMCID: PMC11266600.

6. Kodama T, Imajima T, Shimokawa M, Otsuka T, Kawahira M, Nakazawa J, Hori T, Shibuki T, Arima S, Ido A, Miwa K, Okabe Y, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Shimokawa H, Takeshita S, Nishikawa K, Komori A, Otsu S, Hosokawa A, Sakai T, Sakai K, Oda H, Kawahira M, Arita S, Honda T, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Kawaguchi Y, Fujita T, Sakae T, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. A multicenter retrospective observational NAPOLEON-2 study of nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid in patients with unresectable pancreatic cancer. *Sci Rep*. 2024 May 30;14(1):12422. doi:10.1038/s41598-024-63172-y. PMID: 38816500; PMCID: PMC11139902.
7. 古賀艶可、白羽根健吾、中下俊哉、大座紀子、森田孝一郎、相部仁. Eribulin Mesilate投与中に薬剤性膵炎を来した1例. *癌と化学療法*. Volume 51, Issue 9, 955-957 (2024)

腫瘍内科（臨床腫瘍科）

（原著論文）

1. Azusa Komori, Shuichi Hironaka, Shigenori Kadowaki, Seichiro Mitani, Mitsuhiro Furuta, Takeshi Kawakami, Akitaka Makiyama, Naoki Takegawa, Keiji Sugiyama, Hidekazu Hirano, Takayuki Ando, Tomohiro Matsushima, Akihiko Chida, Tomomi Kashiwada, Masato Komoda, Toshihiko Matsumoto, Hisanobu Oda, Hiroshi Yabusaki, Hisato Kawakami, Kentaro Yamazaki, Narikazu Boku, Ichinosuke Hyodo, Kenichi Yoshimura, Kei Muro; West Japan Oncology Group (WJOG). Prevalence and clinicopathological features of microsatellite instability-high metastatic or recurrent gastric and esophagogastric junction cancer: WJOG13320GPS. *Gastric Cancer*. 2025; 28:301-308.
2. Kubota Y, Sano H, Takeda Y, Yamaguchi K,

Nakamura H, Kai K, Kidoguchi K, Kusaba K, Yokoo M, Ando T, Sueoka E, Kimura S. Pure Red Cell Aplasia in a Patient with Thymic Hyperplasia, Hypogammaglobulinemia and Adult T-cell Leukemia/Lymphoma. *Internal Medicine*. 2025 May 1; 64(9):1393-1398.

（解説記事・専門誌寄稿）

1. 田嶋柚紀、古賀美穂子、築貫由紀、釜田里奈、中原大貴、柏田知美、内藤光三. 【医師事務補助者の業務拡大】（事例2）医学管理料の算定件数増加 チームで業務負担軽減と収益向上へ（解説）. *医事業務*. 2024.7; 31(673): 17-20.
2. 柏田知美. がん薬物療法におけるナースの役割と投与管理におけるチェックポイント. *YORI-SOUがんナーシング*. 2025.2; 15(1): 28-31

（学会発表・抄録（国内学会））

1. 柏田知美. クリニカルパスにフォーミュラを組み合わせて薬物治療に強いパスを作成しよう！診療報酬改訂にあわせたフォーミュラに基づく化学療法パス改訂. *日本クリニカルパス学会誌*. 2024.9; 26(3): 199.
2. Chiaki Inagaki, Tadamichi Denda, Daisuke Kotani, Eisuke Inoue, Tomomi Kashiwada, 他. An Observational Study of BRAF Inhibitor Combination Therapy for BRAF-mutated Metastatic Colorectal Cancer Patients: Real-World Evidence from BEETS Trial (JACCRO CC-18). 第62回日本癌治療学会学術集会. 2024.10.24-26. 福岡

（講演会）

1. 柏田知美. 最適な大腸がんLate line薬物療法を再考する. 大腸がん薬物療法2024 in 九州. 2024.6.11. オンライン開催
2. 柏田知美. 胃がん化学療法におけるExercise Oncologyの可能性. 第4回神奈川がん支持療法セミナー. 2024.6.13. 横浜
3. 柏田知美. 胃がん一次治療におけるクリニカルクエスチョン. 第2回TOKKYUセミナー. 2024.9.5. 名古屋
4. 柏田知美. 胃癌一次治療におけるクリニカルクエスチョン. SAGA Gastric cancer Seminar. 2024.9.27. 佐賀
5. 柏田知美. ここまできた 遺伝子検査に基づく大腸がんの薬物治療. 佐賀県臨床外科医会. 2024.11.8. 佐賀

6. 柏田知美. 実臨床におけるニボルマブ+化学療法の価値・ベネフィットとは?. Gastric cancer ICI Seminar in 九州. 2024.11.12. 北九州
7. 柏田知美. 進行大腸癌の集学的治療. 第1回日本消化管学会九州・沖縄支部教育講演会. 2024.12.7. オンライン開催
8. 柏田知美. 大腸がん治療Up to date～レジメン選択からマネジメントまでスッキリ整理～. 第57回 長崎DOCCフォーラム. 2025.1.10. 長崎
9. 柏田知美. 胃がん薬物療法マネジメントを再考する～二次治療を中心に～. TAIHO Web Lecture on Gastric Cancer. 2025.2.20. オンライン開催(m3)

(メディア)

1. 柏田知美、市丸勝昭、押切洋子、田代裕太. 患者さんの希望に沿うためにチーム医療で限界を突破する. アステラス製薬 FOCUS Next

糖尿病代謝内科

(学会発表)

1. 伊東優哉、吉村達、江頭絵里奈、江藤潤也、室雅巳、西村真二. 異なる転機を辿ったバセドウ病母体の同胞例. 第97回日本内分泌学会学術総会. 2024.6.6-8. 横浜
2. 松尾岬、岸川まり子、朝長礼音、伊東優哉、佐藤暢晃、鶴久麻由美、江頭絵里奈、吉村達. ニボルマブ、イピリムマブ使用後に劇症1型糖尿病、続いて副腎皮質機能低下症を発症した一例. 第97回日本内分泌学会学術総会. 2024.6.6-8. 横浜
3. 青木藍里、桑原志穂、江頭絵里奈、古賀多門、江里口誠、高島洋、吉村達. 球脊髄性筋萎縮症に合併した糖尿病の1例. 第62回日本糖尿病学会九州地方会. 2024.10.25-26. 福岡

(講演会)

1. 吉村達. 好生館における糖尿病診療. 久留米佐賀若手糖尿病セミナー. 2024.8.26
2. 吉村達. 特定検診における糖尿病患者の割合は全国トップクラス～いかに実践的かつ効率的な個別指導を行うか～. 特定保健指導向上研修B. 2025.1.19

腎臓内科

(学会発表)

1. 力久哲郎、小野桃子、案浦麻梨奈、福田誠、吉原万貴、宮園素明. 数値流体解析を用いて評価するシャント血流. 第69回日本透析医学会学術集会・総会. 2024.6.8. 横浜市
2. 藤井真子、福田誠、小野桃子、案浦麻梨奈、力久哲郎、橋本優香、野中枝理子、山崎政虎、池田裕貴、吉原万貴、宮園素明. Mycobacterium fortuitum による遺残グラフト感染の1例. 第69回日本透析医学会学術集会・総会. 2024.6.8. 横浜市
3. 平田早恵、水田将人、小林雄彦、藤井真子、力久哲郎、松本圭一郎、福田誠、中村恵、宮園素明. H.Pylori 感染を合併したIgA血管炎に対して除菌療法が有効であった1例. 第54回日本腎臓学会東部学術大会. 2024.9.29. 宇都宮市
4. 荒木敬祐、小林理沙、松岡華、深村光、野中枝理子、池田裕貴、山崎政虎、平田早恵、松本圭一郎、福田誠、吉原万貴、中村恵、宮園素明. アメーバ腸炎を合併した顕微鏡的多発血管炎の一例. 第54回日本腎臓学会西部学術大会. 2024.10.5. 姫路市
5. 藤井真子、中村恵、松本圭一郎、力久哲郎、小林雄彦. 終末期の透析継続に苦慮した1例. 第56回九州人工透析研究会総会. 2024.12.15. 長崎市
6. 松本圭一郎、小林雄彦、藤井真子、力久哲郎、中村恵、山崎政虎、池田裕貴、福田誠、宮園素明. 当院における腹膜透析用カテーテル挿入術のまとめ. 第56回九州人工透析研究会総会. 2024.12.15. 長崎市

(講演)

1. 力久哲郎. ステージG3bからの腎保護・薬剤管理を考える. Renal young conference. 2024.5.23. 佐賀市
2. 松本圭一郎. 腹膜透析用カテーテル挿入術のポイント. 第18回PDセミナー. 2024.8.18. 佐賀市
3. 松本圭一郎. 慢性腎臓病について. 佐賀薬剤師会講演会. 2025.3.2. 佐賀市

脳神経内科

(論文)

1. Ide T, Ebashi R, Eriguchi M, et al. Fulminant demyelinating disease of the central nervous system effectively treated with a combination of decompressive craniectomy and immunotherapy: A case report and literature review. Clin Case Rep 2024;12:e9059.
2. Ide T, Yakushiji Y, Suzuyama K, Nishihara M, Eriguchi M, Ogata A, Matsumoto A, Hara M, Hara H. Associations for progression of cerebral small vessel disease burden in healthy adults: the Kashima scan study. Hypertens Res 2024;47:302-310.
3. Ikeda S, Inoue Y, Suzuyama K, Ide T, Eriguchi M. Haemorrhagic and ischemic stroke following posterior reversible encephalopathy syndrome and thrombotic microangiopathy in a patient with malignant hypertension. Acta Neurol Belg 2024;124:339-341.
4. Ikeda S, Yakushiji Y, Tanaka J, Nishihara M, Ogata A, Eriguchi M, Ono S, Kosugi M, Suzuyama K, Mizoguchi M, Shichijo C, Ide T, Nagaishi Y, Ono N, Yoshikawa M, Katsuki Y, Irie H, Abe T, Koike H, Hara H. Cerebral small vessel disease markers and long-term prognosis in spontaneous intracerebral hemorrhage: the HAGAKURE-ICH study. Hypertens Res 2024.
5. Suzuyama K, Eriguchi M, Minagawa H, Honda H, Kai K, Kitamoto T, Hara H. Accumulation Area of a Japanese PRNP P102L Variant: The Ariake PRNP P102L Variant. J Clin Neurol 2024.
6. 福田ゆい、甘利香織、盛満真人、江里口誠、高島洋. 複視と歩行困難を主訴に救急外来を受診したFisher症候群の一例. 佐賀市医師会報 (10) vol.578,10-14,2024

(学会発表)

1. 溝口詩乃、江里口誠、古賀多門、井上裕香子、盛満真人、田中宏弥、高島洋. 重篤な消化管出血を来した抗NXP-2抗体陽性皮膚炎欠如型皮膚筋炎の一例. 第346回日本内科学会九州地方会. 2024.8.31. 久留米
2. 田中宏弥、江里口誠、井上裕香子、古賀多門、溝口詩乃、盛満真人、高島洋. 抗MOG抗体陽性であった無菌性髄膜炎の1例. 第245回日本神経

学会九州地方会. 2024.9.28. 熊本

3. 古賀多門、江里口誠、井上裕香子、溝口詩乃、田中宏弥、盛満真人、高島洋. 潜因性脳梗塞の原因精査中に診断に至ったPOSの一例. 第246回日本神経学会九州地方会(優秀演題 会長推薦). 2024.12.14. 長崎
4. 盛満真人、江里口誠、川浪建、古賀多門、溝口詩乃、井上裕香子、田中宏弥、檜垣梨央、神下耕平、井戸啓介、檜山国宜、吉田敬規、松本健一、高島洋. アンデキサネットアルファ投与後に急性心筋梗塞を来した2症例. 第50回日本脳卒中学会学術総会. 2025.3.8. 大阪
5. 井上裕香子、江里口誠、古賀多門、溝口詩乃、田中宏弥、盛満真人、高島洋. アルツハイマー型認知症とビタミンB12欠乏性白質脳症の合併により可逆性の認知機能低下を認めた一例. 第247回日本神経学会九州地方会(優秀演題 会長推薦). 2025.3.15. 福岡

循環器内科

(論文)

1. 大坪豊和. Prevalence and clinical features of cardiac amyloidosis identified by atrial biopsy in patients with atrial fibrillation. Eur Heart J in press, Expected publication 2025

(学会)

1. 大坪豊和. Ensite Xの多様な機能を活用したカテーテルアブレーション. 第4回日本不整脈心電学会九州・沖縄地方会. 2024.6.1. 福岡市
2. 岩永和女、西村優希. ジスルフィラム-エタノール反応により心筋障害をはじめとする臓器障害を呈した一例. 第136回日本循環器学会九州地方会. 2024.6.29. 鹿児島市
3. 安心院法樹. BioFreedom Ultraの有効性. 第37回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.8.23-24. 佐賀市
4. 大坪豊和. Electrophysiological and clinical Features of Cardiac Amyloidosis Identified by Atrial Biopsy During Atrial Fibrillation Ablation. APHRS2024. 2024.9.27. シドニー
5. 西村優希. 急性増悪を繰り返す慢性心不全/腎不全に合併した両側腎動脈狭窄に対して造影剤不使用でEVTに成功し全身状態が改善した一例. 第72回日本心臓病学会学術集会. 2024.9.27. 仙台市

6. 大坪豊和. 高周波カテーテルアブレーションによる肺静脈隔離術における再伝導部位のPeak Frequencyの検討. カテーテルアブレーション関連秋季大会. 2024.10.10-12. 大阪市
7. 西村優希. LV summit領域を起源とする心室期外収縮に対し大動脈弁置換術時の外科的クライオアブレーションが奏功した1例. カテーテルアブレーション関連秋季大会2024. 2024.10.11. 大阪市
8. 吉田敬規. Beyond the Physiology 至適PCIにおけるFFRangioの新たな展望. ARIA2024ビデオライブセッション. 2024.11.23. 福岡市
9. 片岡あかり、西村優希. 高齢女性の難治性心不全に対してCRTへのアップグレードが奏功した一例. 第137回日本循環器学会九州地方会. 2024.12.14. 大分市
10. 吉田敬規. 非石灰化病変に対するWolverineの有用性. 第38回日本心血管インターベンション治療学会九州沖縄地方会. 2025.1.11. 熊本市
11. 大坪豊和. Clinical Significance of Cardiac Troponin T in Patients with Atrial Fibrillation undergoing Catheter Ablation. 第89回日本循環器学会学術集会. 2025.3.28. 横浜市

緩和ケア科

(論文・著書)

1. Ando M, Kosugi Kashiwada. T Efficacy of CollageTherapy on Anxiety and Depression of Cancer patients under Chemotherapy. SunText RevArts Social Sci 5(2):177(2024)

(学会発表)

1. 小杉寿文. 教育セミナー神経ブロックのきほんのき. 第29回日本緩和医療学会学術大会. 2024.6.14. 神戸市
2. 久保麻悠子、小杉寿文. ミコナゾール錠口腔用を使用後薬物相互作用が疑われた一例. 第29回日本緩和医療学会学術大会. 2024.6.14. 神戸市
3. 久保麻悠子. シンポジウム26 怖い脊髄鎮痛の管理をやってみよう くも膜下鎮痛法の実践と管理. 第29回日本緩和医療学会学術大会. 2024.6.15. 神戸市
4. 小杉寿文. シンポジウム 緩和ケアにおけるチーム医療にどんな課題があるのか?. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会. 2024.7.19. 宇都宮市

5. 小杉寿文. CT透視下内臓神経ブロック中に大動脈解離を生じた一症例. 日本ペインクリニック学会第58回学術集会. 2024.7.19. 宇都宮市
6. N. Nishiyama, K.Ichimarui, T. Kosugi et al. A multicenter, randomized controlled trial (RCT) on the efficacy of specialized rehabilitation using the Op-reha Guide for terminal cancer patients in palliative care units(PCUs), ESMO (European Society for Medical Oncology) Congress 2024. 2024.9.15. Barcelona
7. 杉部清佳. 緩和ケア病棟入院中に帯状疱疹に伴う痛みに対して行った硬膜外ブロックが著効した1例. 第6回日本緩和医療学会関東甲信越支部学術大会. 2024.10.6. オンライン開催
8. 小杉寿文. フェンタニル添付薬の基材に含まれる物質によるアレルギー反応の一症例. 日本ペインクリニック学会第5回九州支部学術集会. 2025.2.8. 鹿児島市
9. 小松祐也. 仙骨硬膜外アルコールブロックの症例. 日本ペインクリニック学会第5回九州支部学術集会. 2025.2.8. 鹿児島市

(講義)

1. 小杉寿文. 終末期の症状緩和. 佐賀県看護協会訪問看護ステーション研修会
2. 小杉寿文. がんサバイバーの慢性疼痛. 佐賀県病院薬剤師会
3. 小杉寿文. 終末期の症状緩和、疼痛. 久留米大学認定看護師教育センター

(資格取得)

- 久保麻悠子：日本緩和医療学会専門医
2025年4月～
- 杉部清佳：日本ペインクリニック学会専門医
2025年4月～
- 小杉寿文：日本緩和医療学会認定医
2025年4月～

呼吸器外科

(論文)

1. 宮本詩子、武田雄二. 多発肋骨骨折に対する肋骨固定術の手術適応とタイミング. 胸部外科. 2024.4;77(4):284-287

(学会発表)

1. 武田雄二、宮本詩子. 先天性凝固阻止因子欠乏

- 症を背景にもつ肺扁平上皮癌の一切除例. 第57回日本胸部外科学会九州地方会総会. 2024.8.1-2. 福岡
2. 武田雄二、宮本詩子. 間質性肺炎を背景にもつ感染後続発性気胸の一治療例. 第28回日本気胸・嚢胞性疾患学会総会. 2024.8.30-31. 札幌
3. 宮本詩子、武田雄二. 病理学的診断に苦慮した原発性肺癌と卵巣癌の重複癌の一例. 第65回日本肺癌学会学術集会. 2024.10.31-11.2. 横浜
4. 武田雄二、宮本詩子. 診断に苦慮した中縦隔腫瘍の1例. 第61回九州外科学会. 2025.2.7-8. 那覇
5. 宮本詩子、武田雄二. 当館における胸部外傷に対する観血的肋骨固定術の検討と失敗からの今後の方針. 第61回九州外科学会. 2025.2.7-8. 那覇

消化器外科

(論文・著書)

1. Kitagawa H, Manabe T, Yamada Y, Sato H, Takesue S, Hiraki M, Kawaguchi A, Sakaguchi Y, Noshiro H. A prospective randomized study of multimodal analgesia combined with single injection transversus abdominis plane block versus epidural analgesia against postoperative pain after laparoscopic colon cancer surgery. *International Journal of Colorectal Disease*. 2024; 39:12
2. 鶴安浩、能城浩和. 手術手技 血流を重視した亜全胃胃管を用いた自動縫合器による後縦隔経路頸部食道 胃管三角吻合. 手術 (0037-4423). 2024;78(5): 831-837
3. 池田貯、鶴安浩、能城浩和. 特集 食道・胃のロボット支援手術を極める ロボット支援下の胃切除後再建術. 消化器外科. 2024;47 (11): 1317-1327

(学会発表・講演)

1. 池田貯、鶴安浩、新藤優里、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. リニアステープラを用い胸骨後経路亜全胃管大彎側で行う三角吻合の工夫とその利点. 第78回日本食道学会学術集会. 2024.7.4. 東京
2. 池田貯、鶴安浩、新藤優里、北川浩、江川紀幸、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. ロボット手術成長期における外科手術教育の問題点と現実的解決法～Early

ExposureとNeo-Fusion Surgery～. 第79回日本消化器外科学会総会. 2024.7.17-19. 下関

3. 鶴安浩、池田貯、新藤優里、江川紀幸、北川浩、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. ロボット胃癌手術でラパロを超えるUsabilityを目指す～長所を生かし、弱点をOverrideするための工夫～. 第79回日本消化器外科学会総会. 2024.7.17-19. 下関
4. 池田貯、鶴安浩、松浦洋、今村美乃莉、重富桂二郎、北川浩、伊藤孝太郎、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也. ロボット胃癌手術における再建法選択と手技の工夫～Bedside surgeonが操作するステープラを用いた再建～. 第34回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2024.10.5. 長崎
5. 北川浩、古賀靖大、鶴安浩、池田貯、田中聡也. ロボット支援下S状結腸切除術の定型化にむけた当院の工夫. 第34回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2024.10.5. 長崎
6. 鶴安浩、池田貯、今村美乃莉、松浦洋、伊藤孝太郎、北川浩、古賀浩木、古賀靖大、三好篤. 働き方改革に寄与するロボット手術. 第34回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2024.10.5. 長崎
7. 池田貯、鶴安浩、松浦洋、今村美乃莉、重富桂二郎、北川浩、伊藤孝太郎、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也. ロボット胃癌手術における再建法選択と手技の工夫～Bedside surgeonが操作するステープラを用いた再建～. 第37回日本内視鏡外科学会総会. 2024.12.5-7. 福岡
8. 北川浩、古賀靖大、鶴安浩、古賀浩木、池田貯、三好篤、田中聡也. ロボット支援下S状結腸切除術の定型化にむけた当院の工夫. 第37回日本内視鏡外科学会総会. 2024.12.5-7. 福岡
9. 鶴安浩、池田貯、北川浩、古賀靖大、田中聡也. 働き方改革だからこそロボット ～Solo surgeryで行うロボット胃癌手術の有用性と実効性～. 第37回日本内視鏡外科学会総会. 2024.12.5-7. 福岡

肝臓・胆のう・膵臓外科

(学術論文)

1. Egawa N, Miyoshi A, Koga H, Kitahara K, Noshiro H. Six-port robotic liver resection using double bipolar clamp-crush method with saline drops: Advancing safety, efficiency, and versatility in liver parenchymal dissection. *Cureus*. 2024; 16(10): e71580
2. Hirashita T, Ikenaga N, Nakata K, Nakamura M,

Kurahara H, Ohtsuka T, Tatsuguchi T, Nishihara K, Hayashi H, Nakagawa S, Ide T, Noshiro H, Adachi T, Eguchi S, Miyoshi A, Kohi S, Nanashima A, Nagano H, Takatsuki M, Inomata M. Prognostic significance of lymph node metastasis in pancreatic tail cancer: A multicenter retrospective study. *Ann Gastroenterol Surg*. 2024 Jan 9;8 (4) : 681-690

3. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸、安座間真也、北原賢二. 胆管ステント留置に伴う右肝動脈仮性動脈瘤からの胆道出血に対して血管内ステント留置を施行した1例. *日本消化器外科学会雑誌*. 2024; 57(11) : 567-574

(学会発表・講演)

1. Noriyuki Egawa, H Koga, A Miyoshi, K Kitahara, H Noshiro. 6 ports robotic liver resection for clamp-crush technique with saline dripping in liver parenchymal transection. 32nd international congress of the European Association for Endoscopic Surgery. 2024.6.11-14. オランダ
2. Kotaro Ito, T Tanaka, T Ide, H Noshiro. Novel three-dimensional navigation system for robotic-assisted pancreatectomy. 32nd international congress of the European Association for Endoscopic Surgery. 2024.6.11-14. オランダ
3. 三好篤、伊藤孝太郎、江川紀幸、古賀浩木、北原賢二. Current status of genomic medicine for advanced recurrent biliary tract cancer. 第36回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2024.6.28-29. 広島
4. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸、北原賢二. A case of endovascular stenting for biliary bleeding from a pseudoaneurysm of the right hepatic artery following bile duct stenting. 第36回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2024.6.28-29. 広島
5. 江川紀幸、古賀浩木、三好篤、北原賢二. 6 ports robotic liver resection for clamp and crush technique with saline dripping in liver parenchymal transection. 第36回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2024.6.28-29. 広島
6. Kotaro Ito, Tomokazu Tanaka, Takao Ide, Hirokazu Noshiro. A three-dimensional real time navigation system for laparoscopic anatomical liver resection. 第36回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2024.6.28-29. 広島
7. 伊藤孝太郎、田中智和、井手貴雄、能城浩和.

高齢者膵癌に対する膵頭十二指腸切除のリスク因子の検討. 第79回日本消化器外科学会総会. 2024.7.17-19. 下関

8. 江川紀幸、三好篤、新藤優里、鶴安浩、北川浩、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也、北原賢二. 手術執刀を通して初期研修医への消化器外科教育－消化器外科医獲得のために地方市中病院からできること－. 第79回日本消化器外科学会総会. 2024.7.17-19. 下関
9. 宮崎真里奈、古賀浩木、重富桂二郎、伊藤孝太郎、三好篤. 脾破裂で発見された脾臓原発血管肉腫の一例. 第124回日本消化器病学会 九州支部例会. 2024.11.15-16. 鹿児島
10. 江川紀幸、井手貴雄、三好篤、伊藤孝太郎、田中智和、古賀浩木、北原賢二、能城浩和. 系統的肝切除における腹腔鏡手術は長期成績を改善するか？－PSMを用いた開腹手術 vs. 腹腔鏡手術の検討－. 第37回日本内視鏡外科学会総会. 2024.12.5-7. 福岡
11. 三好篤、伊藤孝太郎、古賀浩木、池田貯、田中聡也. 当院の働き方改革の取り組みと課題. 第45回九州肝臓外科研究会. 2025.1.18. 福岡
12. 伊藤孝太郎、古賀浩木、三好篤. ロボット支援肝切除導入における手術手技の工夫と短期成績. 第45回九州肝臓外科研究会. 2025.1.18. 福岡
13. 古賀浩木、伊藤孝太郎、三好篤. 当院における肝内胆管癌に対する腹腔鏡手術の検討. 第45回九州肝臓外科研究会. 2025.1.18. 福岡

(司会)

1. 三好篤. 一般演題(口演)96「その他:症例 救急」. 第86回日本臨床外科学会学術集会. 2024.11.21-23. 宇都宮市
2. 三好篤. 一般演題(口演)地域連携④. 日本医療マネージメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市
3. 三好篤. 一般演題2「腹腔鏡下肝手術」. 第45回九州肝臓外科研究会. 2025.1.18. 福岡

(講演)

1. 三好篤. 肝臓がん、膵臓がんの外科診療. 佐賀県健康づくり財団 令和6年度がん講座. 2024.11.24. 佐賀市

小児外科

(論文)

1. 亀井一輝、山内健、中林和庸、田口匠平. 腎損傷. 小児外科. 2025; 57(2): 205-207

(学会・研究会発表・講演)

1. 亀井一輝、田口匠平、山内健. シートベルトによる小児外傷性盲腸穿孔の1例. 第18回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会. 2024.4.10. 佐賀
2. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 鼠径ヘルニアに対する手術法の変遷が手術時間や麻酔に及ぼす影響に関する検討. 第61回日本小児外科学会. 2024.5.29-31. 福岡
3. 田口匠平、亀井一輝、山内健. 重度側弯症による十二指腸通過障害を呈した重症心身障害者の一例. 第61回日本小児外科学会. 2024.5.29-31. 福岡
4. 山内健、亀井一輝、田口匠平. 重症心身障害児(者)における胃瘻造設法に関する検討. 第61回日本小児外科学会. 2024.5.29-31. 福岡
5. 武藤愛、小根森智子、山内健、田口匠平、亀井一輝. 胃瘻造設術後の患者家族へのミキサー食注入の食事指導の取り組み. 第28回佐賀NST研究会. 2024.6.15. 佐賀
6. 牛島圭太、小根森智子、佐々木美鈴、山内健. 第1回「患者さんのための見た目にも美味しい病院食コンテスト」でグランプリを受賞して～さがランチの取り組み～. 第28回佐賀NST研究会. 2024.6.15. 佐賀
7. 山内健. 小児の肛門周囲膿瘍に対する漢方治療. 好生館漢方研究会. 2024.6.20. 佐賀
8. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 臍ヘルニア嵌頓の1例. 第97回佐賀小児科地方会、第221回日本小児科学会長崎地方会合同地方会. 2024.7.21. 佐賀
9. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 閉塞性黄疸を呈し乳児期早期に手術を行った胆道拡張症の1例. 第53回九州小児外科研究会. 2024.8.24. 福岡
10. 亀井一輝、田口匠平、山内健. シートベルトによる外傷性盲腸穿孔の1例. 第23回九州・沖縄小児救急医学研究会. 2024.8.31. 久留米
11. 山内健、亀井一輝、田口匠平. 当院における経腸栄養コネクタ変更が当科の胃瘻造設術およびその後の管理に与えた影響について. 第16回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会. 2024.9.21-22. 敦賀
12. 山内健、亀井一輝、田口匠平. 中心静脈カテーテル挿入部洗浄を行なった2例のCRBSI防止効果について. 第53回日本小児外科代謝研究会(PSJM2024). 2024.10.24. 東京
13. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 当院における肛門周囲膿瘍に対する漢方治療の検討. 第28回日本小児外科漢方研究会(PSJM2024). 2024.10.25. 東京
14. 亀井一輝、田口匠平、山内健. 落下毛髪胃石により腸閉塞を来した1例. 第98回佐賀小児科地方会. 2024.12.14. 佐賀
15. 山内健. 経腸栄養コネクタの変更が当科における胃瘻造設および経管栄養に与えた影響について. 第40回日本栄養治療学会(JSPEN2025). 2025.2.14-15. 横浜
16. 堀之内梨恵、牛島圭太、小根森智子、山本美紗子、山内健. 臍切除術における術前経口補水療法の安全性と有効性. 第40回日本栄養治療学会(JSPEN2025). 2025.2.14-15. 横浜
17. 山内健、亀井一輝、田口匠平. 可変スライド式イントロデューサーを用いた一期的ボタン型胃瘻造設術の経験. 第49回九州代謝・栄養研究会. 2025.3.1. 鹿児島
18. 仲真美恵、牛島圭太、山内健. 低亜鉛血症を呈したNST患者に対する亜鉛投与量と治療効果に関する検討. 第49回九州代謝・栄養研究会. 2025.3.1. 鹿児島
19. 山内健、亀井一輝、田口匠平. 長期TPN継続中のHypoganglionosisの1例における脂質代謝に関する検討. 第17回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会. 2025.3.8-9. 横浜

心臓血管外科

(論文)

1. Manabu Sato, Hiromitsu Kawasaki, Kozo Naito. Primary pericardial synovial sarcoma : report of a case. 好生. 2024; 58: 29-31.
2. 古賀佑一、宮本詩子、牛草淳、川崎裕満、武田雄二、里学. 心臓手術後の難治性胸水に対して横隔術および胸腔・腹腔シャント留置術を施行した1例. 胸部外科. 2024; 77(11): 966-970
3. Yuichi Koga, Manabu Sato, Eiji Sadashima, Jun Ushigusa, Hiromitsu Kawasaki, Keiji Kamohara. Posterior cardiac drain for atrial fibrillation after aortic valve replacement. SAGE Open Medicine. 2024; 12:1-6

(学会・研究会発表)

1. 永島聖恭、里学、三保貴裕、牛草淳、鶴安浩. 胃癌術後の上腸間膜動脈解離に対して開腹手術を行った1例. 第18回 日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会. 2024.4.10. 佐賀
2. 永島聖恭、里学、川崎裕満、牛草淳、貞嶋栄司. 大動脈弁置換術での Mitroflow/Crown の遠隔期成績の検討. 第124回 日本外科学会学術集会. 2024.4.19. 常滑市
3. 大崎隼、蒲原啓司. 急性A型大動脈解離に対するTAR+FETの成績～下流病変への追加手術症例の検討～. 第32回 日本大動脈外科学会研究会. 2024.4.19. 常滑市
4. 大崎隼、柚木純二、田中厚寿、林奈宜、蒲原啓司. AFXとExcluder legの組み合わせによるEVARの長期成績. 第52回 日本血管外科学学術総会. 2024.5.30. 大分
5. 永島聖恭、里学、三保貴裕、牛草淳. 当院での上腸間膜動脈解離症例の39例の検討. 第52回 日本血管外科学学術総会. 2024.5.31. 大分
6. 内藤光三、武田雄二、福井直子、梶原早苗、中川香澄、徳島香奈、田中聡也. 全死亡症例の検証と病院管理者への報告システム. 第26回 日本医療マネジメント学会学術総会. 2024.6.22. 福岡
7. 大崎隼、里学、三保貴裕. ステントレス生体弁AVR後遠隔期に生じた急性ARの1例. 第57回 日本胸部外科学会九州地方会. 2024.8.1. 福岡
8. 内藤光三、武田雄二、福井直子、梶原早苗、徳島香奈、中川香澄. 医師からのインシデント報告と組織の医療安全文化醸成について. 第19回 医療の質・安全学会学術集会. 2024.11.30. 横浜
9. Jun Osaki, Manabu Sato, Takahiro Miho. Early and Mid-Term Outcomes of TEVAR for Acute Aortic Syndrome. 25th Congress of the Asian Society for Vascular Surgery (ASVS). 2024.12.5. Bangkok, Thailand
10. 永島聖恭、里学. 拳児希望での僧帽弁生体弁置換術～その後～. 第61回 九州外科学会. 2025.2.14. 那覇
11. 大崎隼、里学、三保貴裕. 外傷性心損傷. 第55回 日本心臓血管外科学会学術総会. 2025.2.22. 下関
12. 里学、大崎隼、三保貴裕. 急性心筋梗塞後左室破裂の手術症例. 第55回 日本心臓血管外科学会学術総会. 2025.2.22. 下関

(講演)

1. 里学. 心臓手術周術期におけるiNOの有用性. iNO Expert Webinar in SAGA. 2024.6.4. 佐賀
2. 内藤光三. 患者安全はすべてに優先する～救急医療における安全確保と質改善活動について～. 第46回 佐賀救急医学会 医療安全研修会. 2024.9.21. 武雄
3. 内藤光三. 患者安全はすべてに優先する～好生館の医療安全と質改善活動について～. 令和6年度九州ブロック 日本赤十字社医療安全推進担当者研修. 2024.11.27. 唐津
4. 内藤光三. 2024年の医療安全文化調査について. 第210回 病院マネジメント推進会「医療安全研修会」. 2025.1.9. 佐賀

脳神経外科**(学会・研究会)**

1. 井戸啓介. 自施設におけるPipeline症例. Pipeline User's Meeting @ Hakata. 2024.4.5. 福岡
2. 加賀駿、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一. 致命的な経過を辿った中大脳動脈M1巨大紡錘状動脈瘤の一例. 第147回 日本脳神経外科学会九州支部会. 2024.6.1. 鹿児島
3. 井戸啓介. 当院における血栓回収療法の現状. 血栓回収療法ブラッシュアップセミナー in SAGA. 2024.9.14. 佐賀
4. 加賀駿、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一. 多発脳出血を契機に指摘された脳静脈洞血栓症および硬膜動静脈瘻に対して血管形成術が奏功した一例. 第148回 日本脳神経外科学会九州支部会. 2024.9.28. 長崎
5. 加賀駿、檜垣梨央、井戸啓介、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. 当院におけるSecondary MeVO症例の検討. 日本脳神経外科学会第83回学術集会. 2024.10.16. 横浜
6. 井戸啓介. 当院における最近の血栓回収療法. 佐賀県脳血管内治療懇話会2024. 2024.12.6. 佐賀
7. 井戸啓介. 当院におけるM1治療戦略. M1 strategy from the REACT AIS registry in Kyushu. 2024.12.10. 北九州
8. 加賀駿、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一. 軽症頭部外傷後にSIADHが遷延した症例. 第48回 日本脳神経外傷学会. 2025.2.21. 東京
9. 加賀駿、檜垣梨央、井戸啓介、松本健一、古賀

多門、溝口詩乃、井上裕香子、盛光真人、田中宏弥、江里口誠、高島洋、上床武史、溝上泰一朗、当院におけるSecondary MeVO症例の検討. STROKE2025. 2025.3.7. 大阪

10. 井戸啓介、檜垣梨央、加賀駿、上床武史、溝上泰一朗、溝口詩乃、井上裕香子、古賀多門、盛満真人、田中宏弥、江里口誠、高島洋、松本健一、確実に血栓を回収するために血栓を可視化する. STROKE2025. 2025.3.8. 大阪
11. 盛満真人、江里口誠、川浪建、古賀多門、溝口詩乃、井上裕香子、田中宏弥、檜垣梨央、神下耕平、井戸啓介、檜山国宣、吉田敬規、松本健一、高島洋、アンデキサネットアルファ投与後に急性心筋梗塞をきたした2症例. STROKE2025 2025.3.8. 大阪

整形外科

(論文)

1. 林田光正. Expandable Cageの有用性. Medtronic Sofamor Danek 手術指導書 White Paper 2024. 2024
2. 塚本伸章、前隆男、小宮紀宏. 踵骨骨折に対する小侵襲でのプレート内固定の治療成績：65歳以上の患者群と65歳未満の患者群との比較. 骨折. 2024 ; 46 : 154-159.
3. 前隆男、小川宗一郎. 非転位型骨折に対するMultiple Pinning. 整形外科 Surgical Technique 大腿骨近位部骨折. 2024 : 20-27
4. Ryosuke Kabu, Hidetoshi Tsushima, Yukio Akasaki, Shinya Kawahara, Satoshi Hamai, Yasuharu Nakashima. Are asymmetric designs of tibial components superior to their symmetric counterparts for constrained condylar total knee arthroplasty using metal block augmentation?. Arthroplasty. 2024 ; 6
5. 林田光正. 好生館整形外科 患者さんの生命を救い社会に復帰させる使命を果たす. FOCUS Next 2024(アステラス社). 2024
6. Taichi Kimura, Satoshi Baba, Mitsumasa Hayashida, Takao Mae. Posterior Spinal Fixation Using a Patient-Specific 3D-Printed Guide for a Sixth Thoracic Vertebral Fracture With Ankylosis and Severe Bone Sclerosis Due to Spondyloepiphyseal Dysplasia Congenita. Cureus. 2025; 175

(学会発表)

1. 前隆男(座長). 大腿骨近位部骨折. 第97回日本整形外科学会学術集会. 2024.5.23. 福岡市
2. 林田光正、馬場覚、有蘭奨. 診断的治療として行ったOLIFの症例. 第52回福岡脊椎外科フォーラム. 2024.12.7. 福岡市
3. 前隆男(座長). 災害医療. 日本医療マネジメント学会 九州山口地方会. 2024.12.7. 佐賀市
4. 徳永真一. Tension band plateのスクリューはなぜたわむ?. 第35回日本小児整形外科学会学術集会. 2024.12.13. 福岡市
5. 有蘭奨. 当院における頸髄損傷患者の動向と最終自宅復帰の阻害因子の検討. 西日本整災. 2024.12.21. 鹿児島
6. 前隆男(座長). 骨盤骨折. 西日本整形・災害外科学会学術集会. 2024.12.21. 鹿児島市
7. 小川宗一郎、松下優. 小児膝蓋骨sleeve骨折の2例. 第148回 西日本整形・災害外科学術集会. 2024.12.22. 鹿児島市
8. 林田光正 (座長). 一般講演 腰椎2. 第148回 西日本整形災害外科学会. 2024.12.22. 鹿児島市
9. 馬場覚、有蘭奨、林田光正. DISHを伴ったAO Type B3の胸椎椎体骨折に対し、側臥位・オープンで手術を行った症例の問題点と当科の試み. 第53回 福岡脊椎外科フォーラム. 2025.3.8. 福岡市
10. 前隆男(座長). 佐賀県臨床整形外科医会 教育研修会. 2025.3.15. 佐賀市

(講演)

1. 前隆男. ロコモティブシンドローム. ゆめ佐賀大学大学院. 2024.5.16. 佐賀市
2. 前隆男. ロコモティブシンドローム. ゆめ佐賀大学大学院. 2024.6.6. 佐賀市
3. 林田光正. 当院における時代の変化に合わせた専攻医教育の取り組み. 第3回Orthopedics Director Seminar. 2024.6.19. 福岡市
4. 前隆男. ピロン骨折 初期治療から再建まで. 日本骨折治療学会 教育研修講演. 2024.6.29. 仙台市
5. 林田光正. 好生館整形外科の現状とトピック. 令和6年地域医療連携懇談会. 2024.10.11. 佐賀市
6. 前隆男. ロコモティブシンドローム. ゆめ佐賀大学大学院. 2024.12.11. 唐津市
7. 林田光正. (特別企画) 働き方改革に対する当院の取り組み. 第148回西日本整形災害外科学会. 2024.12.21. 鹿児島市

8. 大屋慶知、松下優. 小児の橈骨遠位端骨折にVA-LCPプレートをを用いた5例. 第148回西日本整形・災害外科学術集会. 2024.12.21. 鹿児島市
9. 前隆男. 骨粗しょう症治療病診連携の取り組み. 佐賀県北こつ骨病診連携会. 2025.2.6. 唐津市
10. 前隆男. 佐賀県中部医療圏の骨粗しょう症連携. 佐賀県中部医療圏 骨粗鬆症医療連携セミナー. 2025.3.5. 佐賀市
11. 前隆男. 27年間にわたる好生館整形外科外傷の変遷. 好生館医学会総会. 2025.3.15. 佐賀市

精神科

(論文・執筆)

1. 角南隆史. 職場で使える！アルコール使用障害の予防のための簡易介入プログラム. 産業精神保健. 2024 ; 32 (2) : 190-196
2. 角南隆史、木村充、杠岳文. 国内の依存症専門医療機関でのアルコール依存症の治療技法や全国のアアルコール依存症治療テキストの解析 認知行動療法を中心に. 日本アルコール関連問題学会雑誌. 2024 ; 25 (2) : 37-42
3. 角南隆史. 「ほどほどに」では不十分 アルコールの問題を抱える社員への支援 総論「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」解説. 産業保健と看護. 2025 ; 17 (2)
4. 宋龍平、伊東明雅、角南隆史、浅野真、金田一賢顕、河西有奈、谷山佳津子. どうする!?職場のアルコール問題対策 : 予防・対応・リワーク支援. 金子書房 2025. ISBN: 9784760826995

(学会・講演会)

1. 石井博修. 佐賀から周産期メンタルを考える. 令和6年度子育て支援カウンセラー派遣事業研修会. 2024.7.7. 佐賀
2. 角南隆史. アルコールと健康について考える. 令和6年度アルコール関連問題支援者研修会 In 山陰断酒学校. 2024.9.6. 松江
3. 角南隆史. 産業保健におけるアルコール健康障害への取り組み方〜ツールのご紹介〜. 第34回日本産業衛生学会全国協議会. 2024.10.4. 千葉
4. 角南隆史. 依存症者や多量飲酒者への対応の基本. 令和6年度アルコール関連問題支援者研修会. 2024.11.22. 大分
5. 角南隆史. アルコール健康障害への早期介入. 令和6年度豊肥地域アルコール健康障害対策研修会. 2024.12.6. 大分

6. 石井博修. 高齢者のうつ病と自殺へのアプローチ. 令和6年度杵藤地区自殺対策研修会. 2024.12.10. 佐賀

小児科

(論文)

1. 島田里美、中村拓自、岡政史、西原正志、松尾宗明. 片側眼瞼下垂と弱視を契機にKallmann症候群と診断した3歳男児例. 日本小児放射線学会雑誌. 2024 ; 40 (2) : 111-115
2. Ito Y, Kakiuchi T, Yoshioka F, Yoshiura M. Subdural Abscess From Acute Sinusitis in a Patient With Ornithine Transcarbamylase Deficiency. Clin Case Rep. 2025;13(2):e70268. Published 2025 Feb 23.
3. Yuta Baba, Yumeng Zhang, Yuri Ishida, Akira Iwanaga, Aiko Kumamoto, Takeshi Tamanouchi, Shinji Nishimura. Management with conservative gastrointestinal decompression and intravenous immunoglobulin relieved intestinal obstruction in Kawasaki disease: A Case Report. Journal of Clinical Question. (In press)

(学会発表)

1. 岩永晃、工藤舞花、中村圭佑、伊東優哉、中林結子、川崎祥平、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、一ノ瀬文男、在津正文、實藤雅文. 胃瘻による経腸栄養から食物経口負荷試験を行った医療的ケア児の一例. 第96回佐賀小児科地方会. 2024.4.14. 佐賀市(オンライン開催)
2. 伊東優哉、工藤舞花、中村圭佑、中林結子、川崎祥平、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二. 急性呼吸不全を停止人工呼吸器を要した細菌性肝炎の一例. 第96回佐賀小児科地方会. 2024.4.14. 佐賀市(オンライン開催)
3. 伊東優哉、工藤舞花、馬場裕太、島田里美、坂田佑理恵、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、松岡若利、賀来典之. 脳幹動脈奇形破裂後に神経原性肺水腫を呈した一例. 第97回佐賀小児科地方会・第221回日本小児科学会長崎地方会合同地方会. 2024.7.21. 佐賀市(オンライン開催)
4. 坂田佑理恵、伊東優哉、熊本愛子、馬場裕太、島田里美、岩永晃、前田寿幸、西村真二. 甲状腺ホルモンの上昇とQT延長の関連が示唆されたバセドウ病の1例. 第97回佐賀小児科地方会・第221回日本小児科学会長崎地方会合同地方会.

2024.7.21. 佐賀市(オンライン開催)

5. 岩永晃、森田駿、在津正文. 気管支喘息の長期管理におけるステップダウン後の再増悪因子の検討. 第52回西日本小児アレルギー研究会. 2024.8.25. 福岡県
6. 中村圭佑、工藤舞花、伊東優哉、川崎祥平、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、松岡若利、賀来典之、森田圭一、松島峻介. 先天性気管狭窄症により呼吸停止を来した4か月男児. 第23回九州・沖縄小児救急医学研究会. 2024.8.31. 久留米市(オンライン開催)
7. 島田里美、馬場裕太、坂田佑理恵、伊東優哉、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、垣内俊彦、藤岡勝慶、富永直之、緒方伸一、増田正憲. 黒色便を呈したサイトメガロウイルス腸炎の4か月女児の一例. 第98回佐賀小児科地方会. 2024.12.14. 佐賀市(オンライン開催)
8. 坂田佑理恵、伊東優哉、熊本愛子、馬場裕太、島田里美、横山梓、岩永晃、前田寿幸、西村真二、室雅巳. バセドウ病母体児の同胞例から考える母体TRAb値と胎児甲状腺腫. 第60回佐賀周産期カンファレンス. 2025.3.3. 佐賀市

(講演)

1. 岩永晃. 当院におけるアトピー性皮膚炎の診療状況. 佐賀県小児科医学会学術講演会. 2024.4.16. 佐賀市
2. 岩永晃. 食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応. 令和6年度学校における食物アレルギー対応研修会. 2024.6.11. みやき町
3. 岩永晃. 食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応. 令和6年度学校における食物アレルギー対応研修会. 2024.6.18. 佐賀市
4. 岩永晃. 食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応. 令和6年度学校における食物アレルギー対応研修会. 2024.6.25. 塩田町
5. 岩永晃. 小児の食物アレルギーについて学ぼう！～医師から学ぶ観察ポイント～. 佐賀県看護教育研修会. 2024.6.30. 佐賀市
6. 岩永晃. ナースのための子どものみかた～緊急性を見極めるポイント～. 佐賀県看護教育研修会. 2024.7.2. 佐賀市
7. 中村圭佑、西村真二. 先天性喘鳴として観察されていた重症気管狭窄の乳児例. 佐賀大学小児科クリニカルカンファレンス. 2024.7.2. 佐賀市
8. 岩永晃. アレルギーマーチと当院におけるアトピー性皮膚炎の診療状況. アトピー性皮膚炎治療

セミナー in 佐賀. 2024.7.5. 佐賀市

9. 熊本愛子. 日常診療での失神 「問診の重要性」. 第296回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス. 2024.9.27. 佐賀市
10. 坂田佑理恵. 小児肥満を考える. 第159回佐賀市川副町母子・学校保健を考える会. 2024.11.13. 佐賀市
11. 伊東優哉、坂田佑理恵. 症例から学ぶ重症DKAと合併症. 佐賀大学小児科クリニカルカンファレンス. 2024.11.19. 佐賀市
12. 岩永晃. アトピー性皮膚炎の治療～再発・再燃予防のための外用薬選択～. 小児アトピー性皮膚炎診療講演会. 2024.12.12. 佐賀市
13. 馬場裕太. 小児救急勉強会. 松浦市消防本部. 2024.12.15. 長崎県松浦市
14. 前田寿幸. 好生館小児科7年間のまとめ. 第298回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス. 2025.1.24. 佐賀市
15. 馬場裕太. 小児救急勉強会. 福岡県糸島消防本部. 2025.2.26. 福岡県糸島
16. 馬場裕太. 佐賀県北部地区養護教諭研修会. 唐津市. 2025.3.6. 佐賀県唐津市

皮膚科

(学会・研究会発表)

1. 米倉直美、光吉彩. 蜂窩織炎より敗血症性ショックに至った一例. 第38回佐賀臨床皮膚科医会. 2024.8.3. 佐賀市
2. 光吉彩、井上卓也、杉田和成. 単クローン性免疫グロブリン血症を伴ったElastolytic cell granuloma. 第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会. 2024.9.15. 仙台市
3. 米倉直美、光吉彩. 気になるスライド. 第39回佐賀臨床皮膚科医会. 2024.12.14. 佐賀市

(メディア出演)

1. 米倉直美. 汗のにおい徹底対策. 佐賀テレビ. 2024.7.3

泌尿器科

(学会発表)

1. 古賀俊暉、高山梓、佐藤暢晃、柏木英志、諸隈太. フルニエ壊疽の一例. 第85回佐賀県泌尿器科懇話会. 2024.5.25. 佐賀市
2. 陣内一輝、甲斐敬太、東武昇平、野口満、佐藤

暢見、諸隈太、田中祐也、中村朱、増田正憲、森大輔. 腔壁浸潤を伴った尿道原発明細胞癌の1例. 第65回日本臨床細胞学会春期大会. 2024.6.7 大阪

3. 高山梓、古賀俊暉、佐藤暢見、柏木英志、諸隈太. 尿管からの出血に難渋した一例. 第314回日本泌尿器科学会福岡地方会. 2024.7.20. 福岡市
4. 佐藤暢見、古賀俊暉、高山梓、柏木英志、諸隈太. 骨肉腫成分を伴った肉腫様型尿路上皮癌の1例. 第76回西日本泌尿器科学会総会. 2024.11.2. 佐賀市
5. 元貴彦、古賀俊暉、高山梓、佐藤暢見、諸隈太. 肉腫化した前立腺癌の1例. 第86回佐賀泌尿器科懇話会. 2024.11.16. 佐賀市
6. 古賀俊暉、高山梓、元貴彦、佐藤暢見、諸隈太. 腎盂腫瘍に対して内視鏡的切除術を施行した1例. 第89回日本泌尿器科学会佐賀地方会. 2024.12.14. 佐賀市
7. 高山梓、古賀俊暉、元貴彦、佐藤暢見、諸隈太、柏木英志. ロボット支援下根治的膀胱全摘術後に骨盤リンパ瘻を来した一例. 第315回日本泌尿器科学会福岡地方会. 2025.2.22. 北九州市

産婦人科

(症例報告)

1. 大石将平、光貴子、北川早織、神下優、八並直子、金井督之、室雅巳、安永牧生. オンライン診療で性器ヘルペスと診断されたが梅毒感染であった外陰部潰瘍の1例. 佐賀産婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌. 第36号:47-50. 2025.3

(学会発表)

1. 神下優、八並直子、光貴子、安永牧生. ロボット支援下手術におけるベアパスル2を使用した創閉鎖. 第19回九州産婦人科内視鏡研究会. 2024.4.6. 福岡
2. 光貴子、北川早織、山崎温詞、久本菜美、神下優、八並直子、金井督之、室雅巳、安永牧生. 地方産婦人科女性医師のキャリア形成と育児の両立における問題点. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会. 日本産科婦人科学会雑誌76巻(抄録号)S-487. 2024.4.20. 横浜
3. 光貴子. HPVワクチン積極的勧奨再開を受けて～佐賀県の現状と当院の取り組み～. 令和6年度佐賀県病院薬剤師会学術集会. 2024.5.18. 佐賀
4. 光貴子、梅崎靖、神下優、北川早織、八並直子、

- 金井督之、室雅巳、安永牧生、横山正俊. 育児中の医師に対するリカレント・リスキリング教育. 第81回九州連合産科婦人科学会第75回九州ブロック産婦人科医会学術講演会. 2024.5.25-26. 北九州
5. 神下優、八並直子、光貴子、安永牧生. みんながHappyなロボット支援下手術を目指して. 第12回婦人科ロボット手術学会. 2024.6.1. 大津
6. 八並直子、神下優、光貴子、金井督之、久本菜美、北川早織、安永牧生. コンソール開始直後に発生した腸管損傷の2例. 第12回婦人科ロボット手術学会. 2024.6.1. 大津
7. 大石将平、北川早織、神下優、光貴子、八並直子、金井督之、安永牧生、室雅巳. 外陰部の潰瘍病変の一例. 佐賀産婦第229回学術研修会. 2024.7.7. 佐賀
8. 八並直子、神下優、北川早織、光貴子、大石将平、金井督之、安永牧生. 骨盤臓器脱に対するロボット支援下仙骨陰固定術の導入. 佐賀産婦第229回学術研修会. 2024.7.7. 佐賀
9. 安永牧生. 佐賀県における性暴力被害の実態. 佐賀産婦第229回学術研修会. 2024.7.7. 佐賀
10. 神下優、金井督之、北川早織、江藤絵里奈、吉村達、光貴子、八並直子、安永牧生. レンパチニブとペムプロリズマブとの併用療法中に発症した急性副腎不全の一例. 第66回日本婦人科腫瘍学会学術講演会. 日本婦人科腫瘍学会雑誌42(3):87. 2024.7.19. 鹿児島
11. 光貴子. 育児中の医師の復帰支援: 子供と学生と共に行うスキルトレーニング. 第56回日本医学教育学会大会. 2024.8.9. 東京
12. 八並直子、野口光代、安永牧生. 子宮摘出後に発生し持続した消化器症状に対して漢方が奏功した1例. 第43回産婦人科漢方研究会学術集会. 2024.9.1. 福岡
13. 神下優、光貴子、八並直子、安永牧生. Ever since We started vNOTES. 第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2024.9.13. 東京
14. 神下優. 実践TLH5人の攻略法～過不足なく確実に技術認定医取得の難所を紐解く～. 第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2024.9.13. 東京
15. 光貴子、梅崎靖、神下優、北川早織、八並直子、金井督之、安永牧生. 子育て中の医師へのキャリア支援 子連れでトレーニングに行こう. 第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2024.9.13. 東京

16. 光貴子、北川早織、神下優、八並直子、金井督之、安永牧生. 子宮体癌の化学療法中にPegfilgrastimによる大動脈炎を発症した1例. 第62回癌治療学会. 2024.10.24. 福岡
17. 八並直子、光貴子、神下優、金井督之、安永牧生. 汎下垂体機能低下症による原発性無月経に対して10代前半より女性ホルモン投与を行い、エストロゲンの至適投与量に苦慮した1例. 第39回日本女性医学学会学術集会. 日本女性医学学会誌32(1):162. 2024.11.9-10. 宇都宮
18. 神下優、八並直子、大石将平、光貴子、北川早織、金井督之、安永牧生、室雅巳. 帝王切開癒痕部妊娠を繰り返した1例. 佐賀産婦第230回学術研修会. 2024.12.1. 佐賀
19. 安永牧生、神下優、北川早織、光貴子、大石将平、八並直子、金井督之、室雅巳. 当院における経陰的内視鏡手術(Transvaginal Naturel Orifice Transluminal Endoscopic Surgery:vNOTES)による付属器手術の検討. 佐賀産婦第230回学術研修会. 2024.12.1. 佐賀
20. 梅崎靖、八並直子、光貴子、大隈良一、西智子、奥川馨、横山正俊. 育児休業医師・復職医師を対象としたリスクリソング・リカレント教育の試み. 佐賀産婦第230回学術研修会. 2024.12.1. 佐賀
21. 八並直子、光貴子. 単一施設におけるRPOC症例の検討～TCR53例のGutengerg分類、腫瘍径、hCG値と治療成績～. 第8回子宮鏡研究会学術講演会. 2025.2.15. 東京

眼科

(学会発表)

1. 永浜布美子、佐々由季生、梅口仁美、原野由美、宮本詩子、江内田寛. 網膜血管炎を契機に早期ステロイド治療が可能であった癌関連網膜症の1例. 第61回六大学合同眼科研究会. 2024.9.14. 福岡市
2. Fumiko Nagahama, Yukio Sassa, Hiroshi Enaida. Cancer associated retinopathy with central choroidal folds and vasculitis. The 17th Joint meeting of Japan-Korea-China Ophthalmologists. 2024.11.9. Tokyo

耳鼻いんこう科

(学会発表)

1. 相良駿介、宮崎俊一、宮崎純二. 塩酸ミノサイ

クリン局所注入療法が著効した耳下腺術後唾液瘻の2例. 第127回日本耳鼻咽喉科学会佐賀県地方部会学術講演会. 2024.12.7. 佐賀

放射線科

(論文)

1. 豊田広之、安座間真也、宮本佳奈、菊野亮栄、福田真弓、森田孝一郎、相部仁. 神下耕平、中島史暁、吉田敬規、挽地裕. 盗血現象により心虚血症状を呈した気管支動脈冠動脈起始症の一例. 心臓. 2025;57(3):314-319

(学会発表)

1. 長岡繁、安座間真也、森田孝一郎、福田真弓、岸川浩尚、豊田広之、増田千夏、相部仁. ガストリノーマの一例. 第751回福岡レントゲンアーベント. 2024.5.17. オンライン開催
2. 豊田広之、安座間真也、岸川浩尚、長岡繁、福田真弓、増田千夏、森田孝一郎、相部仁. 医原性動脈損傷による活動性出血を止血し得た2例. 第64回福岡IVRカンファレンス. 2024.5.31. オンライン開催
3. 長岡繁、森田孝一郎、安座間真也、福田真弓、岸川浩尚、豊田広之、増田千夏、相部仁. 橋外髄鞘崩壊症の一例. 第752回福岡レントゲンアーベント. 2024.6.14. オンライン開催
4. 増田千夏、安座間真也、森田孝一郎、岸川浩尚、豊田広之、長岡繁、富永直之、相部仁. 下行結腸静脈瘤破裂を契機に発見された多発腸間膜動静脈奇形の一例. 第199回日本医学放射線学会九州地方会. 2024.6.23. 長崎市
5. 豊田広之、安座間真也、岸川浩尚、長岡繁、福田真弓、増田千夏、森田孝一郎、相部仁. EVAR後のType 1a エンドリークの治療に際し大動脈造影下4D-CTAが有用であった1例. 第65回福岡IVRカンファレンス. 2024.7.26. オンライン開催
6. 森田孝一郎、豊田広之、安座間真也、岸川浩尚、長岡繁、福田真弓、増田千夏、相部仁. 尿管ステント留置後に尿管周囲病変に対しCTガイド下生検を施行した1例. 第66回福岡IVRカンファレンス. 2024.9.27. オンライン開催
7. 増田千夏、森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、豊田広之、長岡繁、相部仁. 胎盤血管腫の一例. 第755回福岡レントゲンアーベント. 2024.10.12. オンライン開催
8. 長岡繁、相部仁、森田孝一郎、安座間真也、

岸川浩尚、豊田広之、増田千夏. 神経原性肺水腫の一例. 第756回福岡レントゲンアーベント. 2024.11.8. オンライン開催

9. 増田千夏、相部仁、森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、豊田広之、長岡繁. 環軸椎周囲および硬膜外膿瘍を合併した化膿性脊椎炎の1例. 第757回福岡アーベント. 2024.12.13. オンライン開催
10. 長岡繁、森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、豊田広之、増田千夏、相部仁. 頭蓋内髄外造血の1例. 第757回福岡アーベント. 2024.12.13. オンライン開催
11. 長岡繁、相部仁、森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、豊田広之、増田千夏. 成人型顆粒膜細胞腫の1例. 第758回福岡アーベント. 2025.1.10. オンライン開催
12. 豊田広之、安座間真也、森田孝一郎、岸川浩尚、長岡繁、福田真弓、増田千夏、相部仁. 腓頭部癌十二指腸浸潤による出血に対しTAEを施行した一例. 第68回福岡IVRカンファレンス. 2025.1.24. オンライン開催
13. 長岡繁、森田孝一郎、増田千夏、豊田広之、岸川浩尚、安座間真也、相部仁、佐藤暢晃、森大輔. Fumarate hydratase (FH) 欠損性腎細胞癌の1例. 第200回日本医学放射線学会九州地方会. 2025.2.1-2. 鹿児島市
14. 増田千夏、安座間真也、長岡繁、豊田広之、岸川浩尚、森田孝一郎、相部仁、柏木英志、森大輔. 左側腹部痛を契機に発見された副腎血管腫性内皮囊胞の一例. 第200回日本医学放射線学会九州地方会. 2025.2.1-2. 鹿児島市
15. 増田千夏、相部仁、森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、豊田広之、長岡繁. 前大脳動脈解離の1例. 第759回福岡アーベント. 2025.2.14. オンライン開催

麻酔科

(著書・論文)

1. Reona Aijima, Daisuke Miura, et al.: Impact of General Anesthesia on Postoperative Complications in Orthognathic Surgery: A Retrospective Comparison of Total Intravenous Anesthesia versus Volatile Anesthesia. *Scientific Reports* volume 14, Article number: 16075. 2024

(学会発表)

1. 馬場麻理子、三浦大介、草場真一郎. 大動脈四尖弁による大動脈弁閉鎖不全症に対し大動脈弁置換術を施行した1症例. 日本心臓血管麻酔学会第29回学術大会. 2024.9.21. 広島
2. 三浦大介、草場真一郎、馬場麻理子、池田智子、永石雄基、田代卓、平松史帆、副島周平. 胃瘻造設術を受ける重症心身障害児に対する腹部末梢神経ブロックが術後合併症に与える影響についての検討. 第80回福岡小児麻酔カンファレンス. 2025.2.1. 福岡

(講演・インストラクター)

1. 三浦大介. 第7回九州超音波麻酔アカデミー ハンズオンインストラクター. 2024.8.3. 大分
2. 三浦大介. 日本小児麻酔学会 第29回学術集会 神経ブロックハンズオンセミナー インストラクター. 2024.8.31. 大阪
3. 三浦大介. 第3回宮崎区域麻酔セミナー 講演・ハンズオンインストラクター. 2024.9.14. 宮崎
4. 三浦大介. 鹿児島区域麻酔Autumnセミナー 2024 ハンズオンインストラクター. 2024.10.5. 鹿児島
5. 三浦大介. 第3回沖縄区域麻酔セミナー ハンズオンインストラクター. 2024.11.2. 沖縄
6. 三浦大介. 日本臨床麻酔学会 第44回学術大会 神経ブロックハンズオンセミナー インストラクター. 2024.11.22. 東京
7. 三浦大介. 第3回長崎区域麻酔セミナー ハンズオンインストラクター. 2025.1.25. 長崎
8. 三浦大介. 第15回気道確保シンポジウム コメンテーター. 2025.2.8. 東京

看護部門

(論文・執筆)

1. 梶原早苗. RRT専任看護師の医療安全管理部への配慮とその活動の実際について. 病院安全教育2024. 11(5). 2024.4.30
2. 池田恵子. 退院支援を充実させる「退院支援ナースとMSWの連携体制」の構築. 看護部長通信 2024. 隔月刊 12・1月号. 2024.12

(学会発表)

1. 田中由美. A病院における看護ケア負担軽減への取り組み～ICUでの効果的なペア制導入～. 第28回日本救急医学会九州地方会. 2024.6.15. 鹿児島
2. 徳永香里. 看護師の休憩交替時間確保に向けた「休憩時間・交代一覧表」活用成果. 第26回日本医療マネジメント学会学術総会. 2024.6.21-22. 福岡
3. 小柳未恵. 特定行為研修修了者による心臓血管外科周術期の人工呼吸離脱に向けた取り組み. 第26回日本医療マネジメント学会学術総会. 2024.6.21-22. 福岡
4. 後藤明日香. 長期人工呼吸管理から離脱したダウン症候群の一例. 第26回日本医療マネジメント学会学術総会. 2024.6.21-22. 福岡
5. 荒木将晴. 看護実践を拡大した看護師の道徳的苦悩～特定行為に係る看護師の自由記載の質的分析より～. 日本看護倫理学会第17回年次大会. 2024.6.22-23. 東京都
6. 俵由里子. 心の健康アンケートを用いた周産期メンタルヘルスケアスクリーニング. 第26回佐賀母性衛生学会. 2024.6.22. 佐賀
7. 堀佳織. 血管造影室の薬剤トラブル軽減にむけた5S3定導入の効果. 第37回日本血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2024.8.23-24. 佐賀
8. 馬渡修平. ドクターヘリにおける救命救急士との協働で得られた効果～フレイルチェストをきたした重症外傷患者の一例～. 第46回佐賀救急医学会. 2024.9.21. 佐賀
9. 満岡大貴. 手順書と術中麻酔指示書を活用した特定行為の術中麻酔管理の検証. 第38回日本手術看護学会. 2024.10.19-20. 鹿児島
10. 飯盛直子. 緊急に透析療法を導入する患者の意思決定支援. 第5回九州CKD看護研究会. 2024.10.20. 福岡

11. 伊東美知代. DPC期間Ⅱの最終日退院を目指した病床管理への取り組み. 第63回全国自治体病院学会. 2024.10.31-11.1. 新潟
12. 釜崎静香. 救命救急センターにおける膀胱留置カテーテルの固定によるテープケア減少にむけた取り組み～発生因子の分析とOJTの効果～. 第63回全国自治体病院学会. 2024.10.31-11.1. 新潟
13. 宮本裕太. 死に直面している非閉塞性腸管虚血患者の意思決定支援. 第26回日本救急看護学会学術集会. 2024.11.18-19. 東京都
14. 福田里菜. A病院ICUにおける睡眠の質改善に向けた取り組み～ケア関連因子への介入によるRCSQスコアの変化～. 第26回日本救急看護学会学術集会. 2024.11.18-19. 東京都
15. 荒木将晴. 特定行為実践における診療看護師(NP)が経験する倫理的問題の傾向. 第10回日本NP学会学術集会. 2024.11.22-24. 東京都
16. 伊東美知代. 当院の入院患者満足度調査の自由意見の検証と効果. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
17. 石橋はるみ. 当該外来業務の改善に向けた外来診療予約変更への対策と検証. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
18. 花房喜代治. 急性期病院における精神科医リエゾンチームの活動と今後の課題. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
19. 日高典子. 緊急帝王切開アクションカードを活用したシュミレーション教育の評価. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
20. 林田佳奈. 認知症ケアリンクナースにむけた認知症高齢者ケアに対する研修効果の検証. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
21. 森田めぐみ. 当院の大腿骨近位部骨折患者に対する二次性骨折予防継続管理料の現状と課題. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
22. 大野由貴. A病院における看護師と看護補助者が協働できるための体制整備. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
23. 古賀ハルミ. 外来部門内でのローテーションの試み. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀

24. 梶原早苗. 安全な造成CT検査に向けた取り組み～ピグアナイド系糖尿病薬休薬履行の現状と課題～. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
25. 俵麻美. 当院における褥瘡対策リンクナース育成における効果と課題. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
26. 北川誠也. 当院救急外来の帰宅支援導入後の現状と課題. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
27. 古賀麻里子. 集中治療部のPICS対策のアセスメント向上と学習支援の7年間の取り組み. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
28. 森直美. 最期まで積極的治療を希望された乳癌患者の意志決定支援. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
29. 北原真由子. 急性期病院における接触機能療法実施患者の口腔内環境と栄養レベルとの関連. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
30. 山口文美. 手指衛生実施率と薬剤耐性菌検出数の相関. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
31. 俵由里子. 精神疾患合併妊婦の育児を見据えた妊娠期からの地域包括支援の一例. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
32. 服部美佳. A病院における妊娠糖尿病患者の傾向と今後の課題. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
33. 小川哲史. 特定行為に係る麻酔管理指示書の電子化における効果. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
34. 太島愛子. 特定行為に係る麻酔管理指示書の電子化における効果. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6-7. 佐賀
35. 宮持裕太. 特定行為の実践と「+α」～集中治療領域での特定行為の実践～. 特定行為看護師情報交換会「特定行為看護師MINI学会：救急・集中治療領域」. 2024.12.21. 福岡
36. 北川誠也. 当館で特定行為修了者が実践する救急外来における検査プロトコルの実際～特定行為研修を修了した認定看護師としての介入～. 特定行為看護師情報交換会「特定行為看護師MINI学会：救急・集中治療領域」. 2024.12.21. 福岡
37. 嶋梨乃. 造血器悪性腫瘍患者へのG8 Screening

- Toolを用いた看護介入の効果. 第47回日本造血器・免疫細胞療法学会総会. 2025.2.27-3.1. 大阪
38. 宮本裕太. 当院ICUにおける人工呼吸療法に係る特定行為と人工呼吸離脱のアウトカムとの関係性. 第52回日本集中治療医学会学術集会. 2025.3.14-16. 福岡

診療支援部門

薬剤部

(論文)

1. 宮原強. 消化器外科クリニカルパスへの術後定時非オピオイド鎮痛薬の追加による効果. 日本病院薬剤師会雑誌. 2024.8;60(8):876-882
2. 黒部健太郎. がん化学療法におけるHBV再活性化予防へのPBPMに対する医師・薬剤師の満足度調査. 日本病院薬剤師会雑誌. 2024.9;60(9):983-990

(学会発表)

1. 宮原強. 術後疼痛管理チームの介入事例解析による術後疼痛管理に必要な緩和薬物療法の検討. 第17回日本緩和医療薬学会年会. 2024.5.26. 東京都
2. 徳永晃. ファモチジン過量による精神症状疑いの症例報告. 第18回日本腎臓病薬物療法学会 学術集会. 2024.9.7-8. 札幌市
3. 黒部健太郎. 大腸がんの薬物療法について. 佐賀県がん薬物療法スキルアップアカデミー. 2024.9.28. 佐賀市(オンライン開催)
4. 徳永晃. ファモチジンによる肝酵素値上昇を認め速やかな薬剤変更後に回復した症例. 第83回九州山口薬学大会. 2024.10.13-14. 鹿児島市
5. 仲真美恵. 低亜鉛血症を呈したNST患者に対する亜鉛投与量と治療効果に関する検討. 第49回九州代謝・栄養研究会. 2024.10.13-14. 鹿児島市
6. 黒部健太郎. がん化学療法におけるHBV再活性化予防へのPBPMに対する薬剤部員の満足度調査. 第34回日本医療薬学会年会. 2024.11.2. 幕張市
7. 宮原強. 術後疼痛管理チームのCITAを用いた患者リストの運用とチーム活動について. 第34回日本医療薬学会年会. 2024.11.2. 幕張市
8. 南里本. 整形外科病棟における疑義照会内容の分析と今後の課題. 第34回日本医療薬学会年会. 2024.11.3. 千葉市
9. 宮原強. クリティカルパスと術後疼痛管理チームによる術後疼痛管理の質向上に向けた取り組み. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市
10. 黒部健太郎. 当院でのHBV再活性化予防に対するPBPMについて. 2024年度第3回多地点がん薬物療法カンファレンス2024.12.20. オンライン

開催

11. 黒部健太郎. 当院での連携充実加算への取り組みと抗HER2療法での心機能障害について. 佐賀県病院薬剤師会. 第5回がん薬物療法 薬薬連携研修会. 2025.1.18. 佐賀市(オンライン開催)
12. 黒部健太郎. 当院における薬剤師外来の運用と実際(悪心・嘔吐を中心に). 地域で支える乳癌診療協議会. 2025.1.24. オンライン開催
13. 黒部健太郎. 抗がん剤調製における注射薬混注鑑査システムの満足度調査について. 第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会2025. 2025.3.16. 横浜市
14. 末松耕輔. 術後補助BEP療法において支持療法への介入を実施し. 治療計画の遅延及び抗悪性腫瘍薬の減量なく完遂できた一例. 第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025. 2025.3.16. 横浜市

(講演)

1. 田中康弘. 私達が災害現場で活動する時の最低限の知識. 好生館医療支援部門合同勉強会. 2024.12.19. 佐賀市

医療安全管理部

(学会発表)

1. 内藤光三、武田雄二、福井直子、梶原早苗、中川香澄、徳島香奈、田中聡也. 全死亡症例の検証と病院管理者への報告システム. 第26回 日本医療マネジメント学会学術総会. 2024.6.22. 福岡
2. 内藤光三、武田雄二、福井直子、梶原早苗、徳島香奈、中川香澄. 医師からのインシデント報告と組織の医療安全文化醸成について. 第19回 医療の質・安全学会学術集会. 2024.11.30. 横浜
3. 梶原早苗、福井直子、倉谷実希、山口雅子、徳島香奈、濱田洋、武田雄二、内藤光三. 安全な造影CT検査に向けた取り組みービグアナイド系糖尿病薬休薬履行の現状と課題ー. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀
4. 徳島香奈、福井直子、梶原早苗、山口雅子. 医療安全を目的としたネットワーク型時計の導入と効果. 日本医療マネジメント学会 第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀

(講演)

1. 内藤光三. 患者安全はすべてに優先するー救急医療における安全確保と質改善活動についてー. 第46回 佐賀救急医学会 医療安全研修会.

2024.9.21. 武雄

2. 内藤光三. 患者安全はすべてに優先する～好生館の医療安全と質改善活動について～. 令和6年度九州ブロック 日本赤十字社医療安全推進担当者研修. 2024.11.27. 唐津

感染制御部

(学会発表)

1. 武富光希、福岡麻美、田中康弘、佐野雅彦、岩本夢実. 脂肪乳剤投与方法がCRBSI発生に及ぼす影響. 第72回日本化学療法学会西日本支部総会. 2024.11.15. 神戸
 2. 岩本夢実、武富光希、田中康弘、佐野雅彦、小塩和人、八頭司正稔、福岡麻美. 当館AWaRe分類でみる当院入院患者における抗菌薬適正使用進捗状況の報告. 第72回日本化学療法学会西日本支部総会. 2024.11.15. 神戸
 3. 山口文美、三好恵美子、田口舜、佐野由佳理、武富光希、福岡麻美. 手指衛生実施率と薬剤耐性菌検出数の相関. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
 4. 武富光希、福岡麻美、佐野由佳理、田口舜、三好恵美子、山口文美. 当館のタゾバクタム/ピペラシリン使用動向と緑膿菌に対する耐性率について. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
 5. 田口舜、佐野由佳理、武富光希、山口文美、三好恵美子、福岡麻美. 血液培養検査の精度管理～血液培養検査の適正な実施と迅速な陽性結果報告～. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
 6. 佐野由佳理、田口舜、武富光希、山口文美、三好恵美子、福岡麻美. 当館における薬剤耐性菌検出の検査法及び報告体制と各種耐性菌の発生率の推移. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀
 7. 香月万葉、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、山口健太、松下義照、久保田寧、福岡麻美. Cronkhite-Canada症候群患者の便培養から *Arcobacter butzieri* を検出した1例. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2025.1.24. 名古屋
- 2024.5.25. 福岡
 2. 矢野智彦. 二級検査士(微生物)を受験して. 佐賀県臨床検査技師会 微生物部門研修会. 2024.8.1. 佐賀(オンライン開催)
 3. 泉朱里. 二級検査士(微生物)を受験して. 佐賀県臨床検査技師会 微生物部門研修会. 2024.8.1. 佐賀(オンライン開催)
 4. 香月万葉. 災害発生時の臨床検査について. 好生館医学会. 2024.11.21. 佐賀
 5. 田口舜. 資格試験復命報告～一級臨床検査士認定試験(微生物学)～. 佐賀県臨床検査技師会 情報システム部門研修会. 2025.1.29. 佐賀(オンライン開催)
 6. 田口舜. 微生物部門/同定/試料26の解析報告. 九州臨床検査精度管理研究会 精度管理調査報告会. 2025.2.9. 福岡

医療情報部

(学会発表)

1. 原田智可. 院内がん登録予後調査業務の自動化に向けた取り組み. 日本がん登録協議会第33回学術集会. 2024.6.15. 出雲市
2. 峰和樹. 災害時の医療情報. 好生館医学会. 2024.7.18. 佐賀市
3. 峰和樹. QlikSenseで膨大なデータを自由自在に可視化し、病院運営を改善する！. 第44回医療情報学連合大会. 2024.11.22. 福岡市
4. 原田智可. 院内がん登録業務のIT化に向けた取り組み. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市
5. 峰和樹. 災害時における医療情報システムの活用を考える. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市
6. 峰和樹. 病院運営を改善する！Qlikで膨大なデータを自由自在に可視化. Qlik医療データ活用勉強会. 2025.2.26. オンライン開催

(講演・研究会発表)

1. 田口舜. 一級臨床検査士資格認定試験(微生物学)を受験して. 第15回マイクロスキャンセミナー.

総合教育研修センター

(論文)

1. 宇野純加. ドライアイスの昇華が原因と考えられた二酸化炭素中毒の一例. 好生. 2024;58:41-44
2. 宇野純加. ドライアイスの昇華が原因と考えられた二酸化炭素中毒の一例. 佐賀市医師会報. 2024.9; 令和6年9月号:12-15
3. 福田ゆい. 複視と歩行困難を主訴に救急外来を受診したFisher症候群の一例. 佐賀市医師会報. 2024.10; 令和6年10月号:10-14
4. 原口佳奈子. 大量血胸を合併した神経線維腫症1型の一例. 佐賀市医師会報. 令和6年12月号. 2024.12:5-10
5. 森桃子. 心窩部痛を主訴にwalk in受診したSAMの1例. 佐賀市医師会報. 令和7年1月号. 2025.1:13-16
6. 小島華子. 後頸部痛を主訴に時間外外来を受診した脳脊髄液漏出症の1例. 佐賀市医師会報. 2025.2; 令和7年2月号:9-11

(学会発表)

1. 甘利香織. 当救命センターにおける低体温症16例の検討. 第28回日本救急医学会九州地方会. 2024.6.15. 鹿児島市
2. 福田ゆい. 複視と歩行困難を主訴に救急外来を受診したFisher症候群の一例. 好生館医学会. 2024.7.18. 佐賀市
3. 原口佳奈子. 大量血胸を合併した神経線維腫症1型の一例. 好生館医学会. 2024.9.19. 佐賀市
4. 藤田尚宏. 当院臨床研修医の時間外勤務の実態と働き方改革への対応. 第52回日本救急医学会総会・学術集会. 2024.10.15. 仙台市
5. 甘利香織. 診断プロセスを振り返る. 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロック佐賀県支部第9回学術集会. 2024.11.2. 佐賀市
6. 福田ゆい. めまい、複視で夜間外来を受診した35歳男性. 日本プライマリ・ケア連合学会九州ブロック佐賀県支部第9回学術集会. 2024.11.2. 佐賀市
7. 福田ゆい. てんかん発作後に発症した神経原肺水腫の一例(研修医奨励賞・指導医賞受賞). 第347回内科学会九州地方会. 2024.11.17. 熊本市
8. 森桃子. 心窩部痛を主訴にwalk in受診したSAMの1例. 好生館医学会. 2024.11.21. 佐賀市
9. 甘利香織. 臨床倫理コンサルテーションチーム

- 活動でみてきたもの. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市
10. 藤田尚宏. 臨床研修医の蘇生スキル習得のための工夫と自己研鑽型勉強会～働き方改革への対応も踏まえて. 日本蘇生学会第42回大会. 2024.12.7. 大宮市
 11. 小島華子. 後頸部痛を主訴に時間外外来を受診した脳脊髄液漏出症の1例. 好生館医学会. 2025.1.16. 佐賀市
 12. 藤田尚宏. シミュレーション教育を用いた研修医勉強会は救急・集中治療領域の研修機会を増やす. 第51回日本集中治療医学会学術集会. 2025.3.15. 札幌市
 13. 星野晃大. 研修医の成長とこれからの挑戦. 好生館医学会総会. 2025.3.15. 佐賀市

総合臨床研究所

臨床試験推進部

(学会発表)

1. 宮崎敦、只野茉莉子、溝口佳代、志波三紀子、永倉優子、草葉一友. IRBの質を維持した委員及び事務局員の働き方改革－業務負担軽減策の検討－. 第24回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2024inSapporo. 2024.9.16. 札幌

疾患病態研究部

(論文)

1. 泉秀樹. 私の研究のモットーについて. 好生. 2024; 58: 71

(学会発表)

1. 泉秀樹. 中心体タンパク質OFD1の欠損は、p53を中心体から核内に移行させ、細胞周期の停止とオートファジーの活性化を引き起こす. 第83回日本癌学会学術総会. 2024.9. 福岡
2. 泉秀樹. 中心体タンパク質Odf2は、ヒト神経芽細胞腫細胞の細胞分裂においてCD133陽性リサイクルエンドソームの非対称性継承に関与している. 第47回日本分子生物学会年会. 2024.11. 福岡

疾患ゲノム研究部

(論文)

1. Azusa Komori, Shuichi Hironaka, Shigenori Kadowaki, Seichiro Mitani, Mitsuhiro Furuta, Takeshi Kawakami, Akitaka Makiyama, Naoki Takegawa, Keiji Sugiyama, Hidekazu Hirano, Takayuki Ando, Tomohiro Matsushima, Akihiko Chida, Tomomi Kashiwada, Masato Komoda, Toshihiko Matsumoto, Hisanobu Oda, Hiroshi Yabusaki, Hisato Kawakami, Kentaro Yamazaki, Narikazu Boku, Ichinosuke Hyodo, Kenichi Yoshimura, Kei Muro; West Japan Oncology Group (WJOG). Prevalence and clinicopathological features of microsatellite instability-high metastatic or recurrent gastric and esophagogastric junction cancer: WJOG13320GPS. Gastric Cancer. 2025;28:301–308

(学会発表)

1. 安波道郎、梅口仁美、柏田知美、村田大樹、岩永健太郎. Aggregation of the same EGFR driver mutation in a pedigree of lung adenocarcinoma. 日本人類遺伝学会 第69回大会. 2024.10.10-12. 札幌

臨床統計支援部

(論文・執筆)

1. Aoki T, Sadashima E, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Hayakawa Y, Fujishiro M, Kaise M, Nagata N. High risk stigmata and treatment strategy for acute lower gastrointestinal bleeding: a nationwide study in Japan. Endoscopy. 2024 Apr;56(4):291-301. doi: 10.1055/a-2232-9630.
2. Sadashima E, Takahashi H, Koga Y, Anzai K. Development and Validation of a Scoring System (SAGA Score) to Predict Weight Loss in Community-Dwelling, Self-Supported Older Adults. Nutrients. 2024 Jun 13;16(12):1848. doi: 10.3390/nu16121848.
3. Haraga I, Kosugi T, Sadashima E, Yumiba T, Kubo M, Ishikawa-Konishi A, Akiyoshi K. Effects of palliative intrathecal analgesia on patients with refractory cancer bone pain. J Anesth. 2024 Jun;38(3):405-411. doi: 10.1007/s00540-024-03338-0.
4. Suzuki S, Tominaga N, Aoki T, Sadashima E, Miiike T, Kawakami H, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Sato Y, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Kaise M, Nagata N. Association of blood group O with a recurrent risk for acute lower gastrointestinal bleeding from a multicenter cohort study. Sci Rep. 2024 Jun 17;14

(1):13983. doi: 10.1038/s41598-024-64476-9

5. 富永直之、貞嶋栄司、青木智則、藤田穰、永田尚義. 急性下血患者の予後予測スコアリングシステム：大規模多施設コホート研究. 好生. 2024; 58:7-15

6. 貞嶋栄司. 医学研究における不正. 好生. 2024; 58:25-28

7. Koga Y, Sato M, Sadashima E, Ushigusa J, Kawasaki H, Kamohara K. Posterior cardiac drain for atrial fibrillation after aortic valve replacement. SAGE Open Med. 2024 Nov 16;12:20503121241296566. doi: 10.1177/20503121241296566. eCollection 2024

8. Shioga T, Naito Y, Nakayama M, Tanigawa M, Yano Y, Sadashima E, Terabe H, Miyazaki D, Hisaka T, Akiba J, Yano H. Auerbach's plexus invasion as a key pathological factor for predicting outcomes in ampullary carcinoma. Hum Pathol. 2025 Jan;155:105733. doi: 10.1016/j.humpath.2025.105733

* 医療統計コンサルティング

9. Naito Y, Kawahara A, Makino R, Tokumitsu T, Nagayama D, Sadashima E, Nakamura K, Nishizaki R, Nagatomo T, Fujino Y, Hayakawa C, Mizuguchi K, Mori T, Hirabayashi K, Tajiri T. Diagnostic Criteria of Bile Cytology: A Multicenter Comparative Study of Conventional and Liquid-Based Cytology in Japan. Acta Cytol. 2025 Feb 28;1-18. doi: 10.1159/000544997

* 医療統計コンサルティング

(学会・研究会発表)

1. 貞嶋栄司. 統計解析からみる胆汁細胞診における細胞学的重要所見. 第65回日本臨床細胞学会総会(春期大会). 2024.6. 大阪

(謝辞)

1. Yamamoto T, Nomiyama M, Oshima Y, Ono T, Kozuma Y, Nakura Y, Yanagihara I, Tsumura K, Yokoyama M. Prenatal exposure to intra-amniotic infection with Ureaplasma species increases the prevalence of bronchopulmonary dysplasia. Matern Fetal Neonatal Med. 2024 Dec;37(1):2320670. doi: 10.1080/14767058.2024.2320670

* 医療統計コンサルティング

事 務 部

(学会等)

1. 末安正洋、小山敬. 令和6年能登半島地震におけるロジスティックチームの経験～輪島市保健医療福祉調整本部～. 学会名：第46回佐賀救急医学会. 2024.9.21. 武雄市
2. 宮地宏昭. AIレセプト点検の導入と業務改善. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市
3. 真子歩都. インターネット事前予約サービス「カルナコネクト」を通じた連携強化の実現. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市
4. 重松佳奈. 好生館多言語版ホームページの作製. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.6. 佐賀市
5. 末安正洋. 当館災害対策室の取り組み～全国標準の災害医療を目指して～. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市
6. 徳島香奈. 医療安全を目的としたネットワーク型時計の導入と効果. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市
7. 田中美香. 当院における医師事務作業補助者の医療安全活動. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市
8. 赤坂桜大. 医療勤務環境改善支援センターを利用した当館での取り組みについて. 日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会. 2024.12.7. 佐賀市

2024年度 治験・製造販売後調査実績

(単位・件)

	眼科	感染制御部	肝胆膵内科	緩和ケア科	救急科	血液内科	膠原病・ リウマチ内科	呼吸器内科	小計
治 験			4	1				2	7
製造販売後調査	1	1	3	1		11	3	8	28
	産婦人科	集中治療部	循環器内科	消化器外科	消化器内科	小児科	小児外科	心臓血管外科	小計
治 験			2		4	1		1	8
製造販売後調査	1			1	3	1	1	0	7
	腎臓内科	精神科	乳腺外科	脳神経内科	脳神経外科	泌尿器科	臨床腫瘍科	整形外科	小計
治 験	1					3		1	5
製造販売後調査	2		2	9	1		4		18

治 験	20
製造販売後調査	53

主な委員会の活動状況

働き方改革委員会

(目的等)

好生館では、すべての職員にとって働きやすい環境を整備するとともに、それぞれの職員が効率的に業務を遂行し、多様なライフスタイルと仕事の両立を実現できるよう、「働き方改革委員会」を設置している。

(構成メンバー)

委員長、医師委員 6 名、看護師委員 2 名、薬剤師委員 1 名、臨床検査技師委員 1 名、診療放射線技師委員 1 名、管理栄養士委員 1 名、臨床工学技士委員 1 名、言語聴覚士委員 1 名、事務職委員 2 名、事務局 4 名

(開催状況)

2024 年 6 月 3 日（研修棟研修室 1 A・B）

- ・医師の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について
- ・看護師の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について
- ・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について

2024 年 11 月 7 日（応接・会議室）

- ・医師の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について
- ・看護師の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について
- ・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組事項について

2025 年 3 月 17 日（多目的ホール）

- ・令和 7 年度医師労働時間短縮計画書について
- ・医師の負担軽減及び処遇改善に関する取組の進捗確認
- ・看護師の負担軽減及び処遇改善に関する取組の進捗確認
- ・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組の進捗確認

【好生館働き方改革憲章】

21 世紀に入り、我が国の社会構造は大きく変化した。経済成長の鈍化、少子高齢化、家族モデルの変化という 3 つの歯車が複雑に絡み合っており、私たちの職場である（地方独立行政法人）佐賀県医療セン

ター好生館（好生館）にもその影響が大きく押し寄せている。そこで、天保 5 年（1834 年）に創設され、約 140 年にわたる県立病院時代を経て、平成 22 年（2010 年）より地方独立行政法人化された好生館は、歴史と伝統を守りつつも、佐賀県の地域医療と県民の健康と命を守る責務から、現在、そして、これから更に大きく押し寄せる社会構造の変化に柔軟に対応するため、「好生館働き方改革憲章」を制定し、大胆な病院改革を継続的に進める。

好生館の働き方改革は、好生館に勤務する職員に働きやすい職場環境を与えるのみでなく、県民の命と健康を守る地域医療の質の向上に繋がる重要な改革である。これには、価値観の変革を必要とする困難な課題が山積するが、私たちは敢えてこの難問に立ち向かい、新しい快適な医療勤務環境を作り、地域社会に貢献するため、以下のとおり働き方改革憲章を定める。

【憲章】

- 1 患者を癒やし、その家族を支えることを第一義とする
- 2 心身ともに健康に働ける職場を創る
- 3 それぞれの夢と目的を持って働ける職場を創る
- 4 自らの家族を支え、家族が誇りに思う職場を創る
- 5 常に自らの意識改革に努め、多様な価値観が共存する職場を創る

保険診療委員会

(目的)

保険診療について、診療の質の向上と経営改善を図ることを目的として設置する。

(構成メンバー)

委員長（西村小児科部長）、副委員長（緒方副館長）、医師 3 名、薬剤師 1 名、看護師 1 名、事務 4 名

(開催状況) 毎月最終木曜日

4 月 25 日

- ・保険減点査定分析（2 月分）、再審査結果報告

5 月 30 日

- ・保険減点査定分析（3 月分）、再審査結果報告

6 月 27 日

- ・保険減点査定分析（4 月分）、再審査結果報告
規格により効能効果の異なる主な薬一覧

7 月 25 日

- ・保険減点査定分析（5 月分）、再審査結果報告

8月29日

- ・保険減点査定分析（6月分）、再審査結果報告

9月26日

- ・保険減点査定分析（7月分）、再審査結果報告
腹膜透析カテーテル留置の算定について
支払基金より

10月31日

- ・保険減点査定分析（8月分）、再審査結果報告
支払基金より

11月28日

- ・保険減点査定分析（9月分）、再審査結果報告
支払基金より

12月25日

- ・保険減点査定分析（10月分）、再審査結果報告
支払基金より

1月30日

- ・保険減点査定分析（11月分）、再審査結果報告
支払基金より

2月27日

- ・保険減点査定分析（12月分）、再審査結果報告

3月27日

- ・保険減点査定分析（1月分）、再審査結果報告
消化器外科からのお願いについて

DPC 適正化委員会

（目的）

DPC（診断群分類別包括評価制度）対象病院として、厚生労働省が定めた要件の一つとして、DPC業務の適正な運用を図るため設置する。

（構成メンバー）

包括医療制度適応（DPC対象病床）の診療科部長、薬剤師、看護師、包括医療分析や請求を担当する者、その他、館長が必要と認めた者。

（医師委員：5名、看護師長：1名、薬剤師：1名、事務職員：4名、計11名）

（開催状況）

第1回 2024年6月27日（木）

1. 副傷病名について

第2回 2024年7月25日（木）

1. 副傷病名について

第3回 2024年11月28日（木）

1. DPC請求適正化に向けた取り組みについて

2. 入院からDPC登録までの時間について

第4回 2024年12月26日（木）

1. DPC請求適正化に向けた取り組みについて
2. 包括出来高・症例ごと・診断群分類別の比較について（2024年6月～11月）

医療安全管理委員会

（構成メンバー）

内藤副館長・医療安全管理部長・GRM（委員長）、福岡感染制御部長（副委員長）、田中館長、緒方副館長、宮地看護部長、草葉薬剤部長、岡田事務部長、馬場臨床工学技士長、森病理部長・クオリティマネジメント委員会委員長、武田呼吸器外科部長・医療安全対策委員会委員長、福井GRM、相部放射線科部長、松本脳神経外科部長、三浦麻酔科部長、吉本医事課副主査、星野臨床研修医

（開催状況）

4月26日

医療安全対策委員会、クオリティマネジメント委員会、院内感染対策委員会（以下、「各委員会」）報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、2023年度インシデント・アクシデント報告数、トラブル等対応マニュアル案、インフォームドコンセントについて

5月24日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、注射用カリウム製剤の定数配置の見直し、救急カートの見直し、人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する指針の改定、リスクマネジメントマニュアル総括編の改訂案について

6月24日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、リスクマネジメントマニュアルの改訂案について

7月26日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受

入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告について

8月23日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告について

9月27日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告、『ECRRマニュアル(案)』について

10月25日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告、RRT要請に対する起動体制について

11月22日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告、医療安全文化調査の実施、医療事故
緊急事態発生時の初期対応案、医療事故 緊急
事態発生時の対応案について

12月26日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告、入院患者の無断離院時対応マニユ
アルの改訂、医療安全文化調査の実施について

1月24日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請
状況報告について

2月28日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人
受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要
請状況報告、身体拘束最小化の指針・身体拘束
最小化マニュアル案、手術前の中止を考慮する
薬剤一覧の改訂、院内処方箋の事前合意プロト
コールについて

3月28日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受
入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請

状況報告、救急カート配置薬の見直しについて

院内感染対策委員会

(目的)

院内感染は患者が多なる不利益を被るのみでな
く、人的・経済的に医療資源を圧迫し、結果として
医療の質そのものを著しく低下させる。患者に良質
で安全な医療を提供するため、院内感染を未然に防
ぐ手段を恒常的に院内に周知および遵守させると同
時に、医療スタッフの職業感染曝露を防止する。

(構成メンバー)

田中館長(委員長)、福岡感染制御部部長(副委
員長)、内藤副館長・医療安全管理部部長、岩村
救命救急センター長、久保田検査部部長、草葉薬
剤部長、宮地看護部長、岡田事務部長、佐野臨床
検査技師、武富薬剤師、三好看護師長・感染管理
認定看護師、山口感染制御部専従・感染管理認定
看護師、江頭感染制御部専従看護師、研修医代表

(開催状況)

4月16日(多目的ホールA・B)

- ・2024年度院内感染対策委員会委員(交代)
- ・2024年度ICT・ASTメンバー紹介
- ・2023年度感染制御部・ICT・AST活動目標の
達成度
- ・2024年度感染制御部・ICT・AST活動目標
- ・定例報告(血液培養実施状況、耐性菌検出
状況・サーベイランス(MRSA、ESBL、
AmpC、*C.difficile*)、キノロン耐性大腸菌分
離頻度、手指衛生実施状況、抗菌薬(注射・
経口)・抗真菌薬使用状況、コンサルテーショ
ン報告、職業感染関連報告、ICTラウンド報
告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告:肺結核
1名、腸管出血性大腸菌感染症1名、梅毒(神
経梅毒)1名
- ・2023年度結核患者発生状況
- ・令和5年度感染防止対策に関する相互評価実
施報告
- ・令和6年度新規採用職員研修オリエンテー
ション実施報告
- ・手術部位感染(Surgical site infection: SSI)
サーベイランス対象手術の拡大について(脳
神経外科領域)
- ・細菌検査における質の不適切検体の受付拒否

(リジェクションルール) の導入

- ・院内感染対策マニュアル改訂:標準予防策(環境整備およびリネンの取り扱い)、血管内留置カテーテル関連血流感染防止対策

5月21日(多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告:潜在性結核感染症1名
- ・2024年度結核患者発生状況
- ・薬剤耐性菌発生状況(発生率・感染率)年次推移
- ・サーベイランス結果報告:消化器外科SSIサーベイランス結果(2015年4月1日～2024年3月31日)、4階西病棟中心ライン関連血流感染(CLABSI)サーベイランス
- ・当館のカルバペネム系抗菌薬使用状況と使用量削減に向けた取り組み:長期使用症例に対する使用1～2週時点での再度の許可制導入について
- ・2024年度クリーンハンドキャンペーンの実施について
- ・院内感染対策マニュアル改訂:感染性廃棄物の管理
- ・好生館増築等整備に伴う感染外来プレハブの機能移転について

6月18日(多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告:肺結核1名、潜在性結核感染症2名、梅毒1名
- ・結核患者発生状況
- ・梅毒患者急増中:全国・佐賀県における梅毒患者発生状況
- ・新型コロナウイルス感染症の発生状況および7階東病棟におけるクラスター発生報告
- ・2024年度第一回一類感染症等集中治療アドバンストワークショップ参加報告

7月16日(多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告:粟粒結核・肺結核1名、日本紅斑熱1名、ウイルス性肝炎1名
- ・結核患者発生状況
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告:7階西病棟

・結核接触者健診の実施について

- ・患者・医療環境に接触する新規入職職員に対するHBs抗体検査実施漏れについて
- ・2024年度第1回院内感染対策研修会開催報告
- ・2023年度アンチバイオグラム作成
- ・病院機能評価指摘事項と今後の対応
- ・全国・佐賀県の新型コロナウイルス感染症流行状況と館内における発生状況
- ・院内感染対策マニュアル作成:職員が感染症に罹患した場合の対応、手足口病

8月20日(多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告:潜在性結核感染症(コッホ現象)1名、劇症型連鎖球菌感染症1名、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1名
- ・結核患者発生状況
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告:4階西病棟、救命救急センター
- ・MRSA感染症検出患者ガーゼ交換へ同行(皮膚科)
- ・消化器外科SSIサーベイランス結果報告(2015年4月1日～2024年6月30日)
- ・令和6年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告:白石共立病院(7月9日)
- ・全国・佐賀県の新型コロナウイルス感染症流行状況と館内における発生状況
- ・患者・医療環境に接触する新規入職職員に対するHBs抗体検査の実施漏れについて

9月17日(多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告:肺結核・結核性胸膜炎1名
- ・結核患者発生状況
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告:6階東病棟、検査部、MEセンター、入退院支援センター、緩和ケア病棟
- ・2024年度カテーテル関連血流感染症発生状況および末梢静脈カテーテル関連血流感染症の検討
- ・結核接触者健診結果報告
- ・職員に対する子宮頸癌ワクチン接種
- ・4階西病棟血流感染防止勉強会の実施

- ・無菌治療室の環境清掃について
- ・好生館増築等整備に伴う感染外来プレハブの機能移転について（追加工事）

10月15日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告（10月からの追加項目：2024年度血管内留置カテーテル関連血流感染症発生状況）
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：潜在性結核感染症1名
- ・結核患者発生状況
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告：7階東病棟、リハビリテーションセンター、6階西病棟、手術部、入退院支援センター
- ・令和6年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：サンテ溝上病院（9月6日）
- ・一類感染症等受入れ訓練2クール目開始報告
- ・末梢静脈カテーテル関連血流感染対策の現状
- ・館内消毒薬一覧の更新について
- ・エムボックス患者受入れ対応訓練実施予定

11月19日（研修室1A・1B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：日本紅斑熱1名、劇症型連鎖球菌感染症1名、侵襲性肺炎球菌感染症1名、梅毒1名、後天性免疫不全症候群1名
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告：5階西病棟、3階西病棟、ICU、4階東病棟
- ・令和6年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：富士大和温泉病院（10月8日）
- ・令和6年度エムボックス患者対応訓練報告（10月25日）
- ・2024年度職員のインフルエンザワクチン接種状況
- ・消化器外科SSIサーベイランス結果（2015年4月1日～2024年9月30日）
- ・院内感染対策マニュアル改訂：薬剤耐性菌感染予防策マニュアル一部改訂（リハビリテーション時の感染対策）
- ・感染症等に対応するための物品購入について：インカムデモ機使用報告

12月17日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：つつが虫病1名、アメーバ赤痢1名
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告：SCU、5階東病棟、栄養管理部、放射線部
- ・令和6年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：早津江病院（11月1日）
- ・2024/2025シーズンインフルエンザ流行状況および職員の感染状況
- ・脳神経外科SSIサーベイランス結果報告（2024年5月1日～2024年10月31日）
- ・4階西病棟中心ライン関連血流感染サーベイランス報告
- ・院内感染対策マニュアル改訂：針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露時の対応
- ・術前HIVスクリーニング検査の継続または中止について→中止

1月21日（多目的ホールA・B）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：レジオネラ肺炎1名
- ・部署別クリーンハンドキャンペーン実施報告：外来
- ・2024/2025シーズン佐賀県インフルエンザ流行状況・好生館発生動向・職員の感染状況
- ・感染性の結核患者接触職員への対応
- ・令和6年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：もろどみ中央病院（12月10日）
- ・感染症発生動向調査事業等における検体送付のための包装責任者養成研修会参加報告
- ・令和6年度新興感染症を想定した訓練実施計画
- ・術前HIVスクリーニング検査について

2月18日（書面会議）

- ・定例報告
- ・感染症法に基づく届出疾患発生報告：侵襲性肺炎球菌感染症3名、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1名
- ・令和6年度新興感染症を想定した訓練実施報告（1月24日）
- ・2024/2025シーズン佐賀県におけるインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症流行状況

- ・消化器外科SSIサーベイランス結果（2015年4月1日～2024年12月31日）
- ・増築棟の建設に伴うアスペルギルス等の真菌対策について

3月18日（書面会議）

- ・定例報告
- ・2024年度一類感染症対応チーム訓練報告
- ・令和6年度感染対策向上加算1の施設基準に基づく相互評価実施報告
- ・令和6年度感染防止対策加算1・指導強化加算に係る地域連携系カンファレンス、新興感染症等の発生を想定した訓練、相互評価、連携医療機関訪問等実施報告
- ・院内感染対策マニュアル作成：エムボックス対応マニュアル

救命救急センター運営委員会

（目的）

救命救急センター及び救急外来の運用を円滑に行い、好生館における救急医療の確立を図るため討議、協議を行う。

（構成メンバー）

- 委員長 救急科 岩村部長
副委員長 病院管理部／整形外科(外傷センター) 前副館長
委員 医師10名、看護師2名、ME1名、事務2名

（開催状況）

4月9日

新年度委員について、病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、令和5年度救命救急センターの充実度評価結果について

5月14日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

6月11日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中セ

ンター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

7月9日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

8月（書面開催）

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

9月10日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

10月8日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

11月12日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、救急ホットライン及びドクターヘリホットラインの拡声機能増設について

12月10日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

1月14日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、年末年始救急外来患者状況報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

2月（書面開催）

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

3月11日

病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中セ

ンター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

ICU 運営委員会

(目的)

ICUの運用を円滑に行い、好生館における集中治療機能の充実を図るため討議・協議を行う。

(構成メンバー)

委員長 心臓血管外科 里部長
副委員長 集中治療部 三溝部長
委員 医師10名、看護師2名、ME 1名、事務2名

(開催状況)

- 4月9日 新年度委員について、業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 5月14日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告、令和6年診療報酬改定におけるICUの施設基準について
- 6月11日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告、令和6年診療報酬改定におけるICUの施設基準について
- 7月9日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 8月（書面開催）
業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 9月10日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 10月8日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 11月12日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 12月10日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告
- 1月14日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告

2月（書面開催）

業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告

3月11日 業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告

診療記録管理委員会

(目的)

診療記録管理委員会は、診療録（診療記録）管理の適正化を図ることを目的としている。

(構成メンバー)

委員長（総合教育研修センター長）、
副委員長（リハビリテーション科部長）、
医師委員3名、看護師委員2名、
放射線技師委員1名、管理栄養士委員1名、
検査技師委員1名、薬剤師委員1名、
事務職員1名、事務局3名

(開催状況)

毎月第3水曜日

(今年度の主な検討議題)

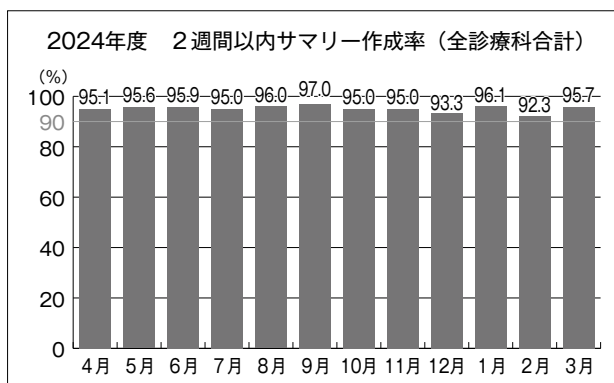
- ・医師・診療情報管理士の診療録監査結果報告・改善策の検討
 - ・診療録監査項目配点・監査基準の見直しについて
 - ・新規文書登録について
 - ・同意書書式改訂
 - ・2重ID登録の運用見直し
 - ・スキヤンの統一した運用方法について
- など、診療録や病院情報システムに関することを検討し、現場への反映を行った。

(監査結果状況)

2024年度は91.4%と前年度から2.5ポイント減少した。

(退院サマリー作成状況)

退院後2週間以内の退院サマリーの作成率の推移を以下に示す。2024年度の2週間以内の作成率は95.2%と前年度から1.4ポイント減少した。



図書委員会

（目的）

図書委員会は、図書の管理および適正化を図ることを目的とする。

（構成メンバー）

委員長、医師委員 6 名、
薬剤師委員 1 名、看護師委員 1 名、
事務職委員 1 名、事務局 2 名

（開催状況）

LINE WORKSにて開催

2024年11月8日（金）アンケート締切

1. 2025年度 医学雑誌および図書購入希望について
2. 雑誌・書籍の取り扱いについて
3. 雑誌（電子版）について

クリニカルパス委員会

（目的）

当委員会では新たな治療などに対する新規クリニカルパスを各診療科に提案し、作成の助成を行うこと、既存のクリニカルパスをDPCや診療内容変更などに合わせた修正などを行い、医療の質の向上、医療プロセスの効率化を行うことで患者・家族をはじめとして県民の好生館への信頼度を高め、地域医療への一層の貢献を目的としています。

（構成メンバー）

委員長（吉田循環器内科部長）、副委員長（宮崎耳鼻咽喉科部長）、委員として看護師 2 名、薬剤師 1 名、企画経営課 1 名、医療情報部 2 名、図書診療録係 2 名の計 10 名で構成されています。

（開催状況）

毎月 1 回の開催としております。働き方改革の一環として、新規クリニカルパスの審査ならびにクリニカルパスの使用状況など、Web会議にて行うことが可能な議案についてはLINE WORKSを利用しております。

（今年度の主な活動）

例年と同じく、パス運用状況の把握、パス作成支援、新規申請パスの審査、DPCとの整合性のチェックや修正などを行ってまいりました。

（パス作成運用状況）

2024年度（令和 6 年）のクリニカルパス運用状況を以下に示します。2024年度のクリニカルパス適応率 67.1%と当院の中期目標である 62%を上回ってまいりました。新規クリニカルパスの作成件数 11 件を行い、日常業務の負担軽減ならびに患者様への安定した医療提供を行えるようにサポートを行いました。

また、DPC期間の変更などに併せて 73 件のクリニカルパス修正を行っております。

今後も各診療科に協力して頂き、緊急入院患者にも対応できるクリニカルパスの作成、よりよい診療のサポートができるようなクリニカルパスの作成に関わっていきたくと考えております。

（文責：吉田 敬規）

病院マネジメント推進会

（目的）

病院の全職員が病院運営に関する情報や問題意識を共有し、安全で効率的かつ質の高い医療を提供すること、また、全職員が健全な経営への参加意識を高めていくことを目的として、病院マネジメント推進会を定期的に開催する。

（構成メンバー）

委員長 総合教育研修センター長
副委員長 看護部
医療安全管理委員会
院内感染対策委員会
医療コミュニケーション推進委員会
災害対策室
認知症ケアチーム
クリニカルパス委員会
NST小委員会

褥瘡対策委員会

医療情報部

検査部

薬剤部

放射線部

事務部の各部門から1名および総合教育研修センターメンバーにより構成される。

2024年4月から2025年2月まで、毎月1回、全職員を対象に研修会を開催した。なお、好生館に勤務する全職員が受講を義務付けられている必須研修会（医療安全研修会、院内感染対策研修会、保険診療研修会、災害対策研修会、認知症ケア研修会、情報セキュリティ研修会）については、DVD研修やeラーニングを併用することで、好生館で働く全職員が受講し、受講率100%となっている。

また、医療倫理研修会においては、日本専門医機構認定共通講習として開催し、飯塚病院 連携医療・緩和ケア科 石上 雄一郎 先生にACPとDNARの考え方についてご講演いただいた。

研修の詳細については、別紙の実績表参照。

（文責：甘利 香織）

倫理審査委員会・利益相反審査委員会

（構成メンバー）

吉村 達（糖尿病代謝内科部長/委員長）、前 隆男（副館長）、草葉一友（薬剤部長）、三好 篤（統括診療部長）、久保田 寧（検査部長）、宮地由美子（看護部長）、岡田 俊（事務部長）、安波 道郎（総合臨床研究所 研究員）、安永治郎（施設外委員/安永法律事務所弁護士）、齋藤秀子（施設外委員/看護協会副会長）

オブザーバー：貞嶋

事務局（臨床試験推進部）：小島、三浦

（開催状況）

定例の倫理審査委員会・利益相反審査委員会を月に1回開催した。2024年度の審議件数は下記の表の通りであった。倫理審査申請のうち61件が新規研究課題および医療倫理問題、11件が保険適応外使用・院内製剤等に関するもので合計72件であった。

（倫理審査 申請・報告総件数）

	新規申請	変更申請	終了報告	合計
件数	54	22	26	102

（利益相反審査 申請件数）

	新規
件数	225

（今後の課題と展望）

2023年度までは安波道郎先生が倫理審査委員長を務めておられたが、2024年度からは糖尿病代謝内科の吉村達部長がその後任となった。2023年度に立ち上がった臨床倫理コンサルテーションチームと協力し、今後は院内で生じた倫理的難題の解決にも取り組んでいきたい。またこれまでのように、毎月の定例開催と至急課題についての臨時開催を行い、申請に対しては早急に審議したい。さらに、好生館職員の着想による研究を推進できるよう、申請にあたっての支援を継続していく。

（文責：久保田 寧）

情報管理委員会

（目的）

診療情報の管理、情報システムの整備及び運用並びに個人情報の保護及び適切な管理に関する事項について調査審議する。

（構成メンバー）

委員長（館長）、副委員長（副館長及び企画経営課長）、委員（医師7名、看護師3名、コメディカル6名、事務4名）

（開催状況）

2024年11月6日

1. 情報管理委員会について
2. DX推進計画について
3. 好生館IT-BCPの設置について
4. 2027年病院情報システム更新について
5. その他

2025年1月10日

1. 令和6年度DX推進計画の進捗について
2. 2027年病院情報システム更新について
3. 病院情報システムへの生成AI導入について
4. その他

（文責：峰 和樹）

2024
好生館この一年

Annual Supplement

2024年 令和6年



4月1日(月)

採用辞令交付式

医師、看護師、コメディカル、事務職員等、入職者141名に採用辞令書を交付した。



4月10日(水)

看護師の特定行為研修開講式

第6期生となる3名の受講生に対し、受講許可証を交付した。



5月30日(木)

佐賀県国民保護共同実動訓練

大規模集客施設における緊急処理事態の初動対応について、関係機関の連携強化を図ること等を目的に、内閣官房、総務省消防庁、佐賀県及び佐賀市の主催により、国民保護法に基づき、令和6年度 佐賀県国民保護共同実動訓練を実施した。



6月19日(水)

嘉瀬小学校での内藤副館長講話

嘉瀬小学校の4年生を対象に内藤光三副館長が講話を行った。

2024年 令和6年



6月28日(金)

七夕飾り贈呈式

日新こども園好生館分園より七夕飾りが贈呈された。



7月26日(金)

ふれあい看護体験

看護についての興味・理解を深め、進路の参考としてもらうことを目的として、佐賀県看護協会と共催し、高校生を対象とした「ふれあい看護体験」を開催した。



8月3日(土)

県民公開講座

県民の皆さんに正確な健康情報を提供することを目的として、アバンセホール（佐賀市）を会場に、「県民公開講座」を開催した。



9月5日(木)

看護師の特定行為研修修了式

看護師の特定行為研修修了式を執り行った。

2024年 令和6年



9月7日(土)

災害訓練

化学災害対応を念頭に置いた災害訓練を実施した。



10月4日(金)

病院機能評価

7月1日、2日のサーベイヤーによる訪問審査を経て、日本医療機能評価機構の定める病院機能評価「一般病院2（3rdG:Ver.3.0）」及び「緩和ケア病院」の基準を達成している医療機関として認定された。（認定期間 2024年4月19日-2029年4月18日）



10月11日(金)

地域医療連携懇談会

ホテルニューオータニ佐賀にて開催し、県内外の連携医療機関から総勢174名が参加された。



10月19日(土)

ブラック・ジャックセミナー

子どもたちに医療への関心を高めてもらい、将来の自身の進路を選択する際の一助としてもらうことを目的として、外科手術等体験イベント「ブラック・ジャックセミナー」を開催した。

2024/2025年 令和6/7年



11月21日(木)

消防訓練

火災発生から避難まで一連の実動訓練を行った。発生場所を事前に周知しないブラインド訓練であった。



12月6日(金)、7日(土)

日本医療マネジメント学会

SAGAアリーナにて、「医療・介護・福祉の流れは絶えずして－2024年 怒涛の改革を乗り越える－」をテーマに、日本医療マネジメント学会第21回九州・山口連合大会を開催した。一般口演では現場改善の取組など165題の発表が行われた。



12月19日(木)

春海保健大学校による施設見学

春海保健大学校（大韓民国釜山広域市）の学生20名が、施設見学を行った。



1月18日(土)・25日(土)

がん県民公開講座

サガテレビにて2週にわたり「がん調査隊が行く！2～大腸がんの傾向と対策～」を放送した。

2025年 令和7年



1月24日(金)

部署別対抗ボウリング

ボウルアーガスにて、部署別対抗ボウリング大会を開催した。



1月24日(金)

新興感染症・一類感染症訓練

白石共立病院、佐賀県健康福祉政策課、佐賀県杵藤保健福祉事務所、佐賀県衛生薬業センター、佐賀県警察等の参加の下、新興感染症・一類感染症疑い患者の発生を想定した患者搬送・受入訓練を実施した。



1月27日(月)

佐賀北高校から書の寄贈

佐賀県立佐賀北高等学校書道部より言葉による癒やしのための書作品を寄贈いただいた。



2月17日(月)

嘉瀬小学校から車いすの寄贈

嘉瀬小学校から車いすを寄贈いただいた。

2025年 令和7年



2月26日(水)

JMIP

11月19日、20日に外国人患者受入医療機関認証制度(JMIP)を受審し、認証の更新を得た。



3月12日(水)

臨床研修医修了式

基幹型臨床研修プログラムで2年間の研修を行った第20期生12名の臨床研修医修了式を行った。



3月31日(月)

退職辞令交付式

132名の退職者を代表し、14名に辞令書を交付した。

2024年 好生館年報

発 行 日 令和7年（2025年）10月

発 行 地方独立行政法人
佐賀県医療センター好生館

佐賀市嘉瀬町中原400番地

電 話（0952）24－2171

FAX（0952）29－9390

WEB <https://www.koseikan.jp/>





SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
Annual Report 2024